

平成29年度
徳山高専学校要覧
College Bulletin 2017



緑あふれる環境の中で、
知性を育み、感性を磨く

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College

An aerial photograph of Tokuyama City, Japan, showing a dense urban area with numerous buildings, roads, and green spaces. In the background, there are large, forested mountains and a body of water. The city is surrounded by a mix of residential and industrial areas.

徳山工業高等専門学校校歌

作詞 上野五郎

作曲 岡田昌大

- 一、みどりさす ^{なかしやう} 嵩城の丘
まなびやは ひかりあふれて
やまなみに ひびくこだまは
徳山高専 健児らのうた
われら ここにつどいて
^{いつとせ} 五年のいのち 燃やさん
- 二、みはるかす 太華の麓
瀬戸内の 霧は晴れゆき
ものつくる いぶきは満ちぬ
徳山高専 健児は誓う
われら ここに学びて
^{たくみ} 工の道を 究めん
- 三、ゆたかなる 周防の^{さん}山河
^{なこうど} 若人の 胸をよぎるは
ちちははの 遠き歴史ぞ
徳山高専 健児は仰ぐ
われら ここに羽ばたき
たくましく 明日を担わん



目次

Table of Contents

建学の理念	The Founding Ideal of Tokuyama College	3
三つのポリシー	Policy	4
沿革	History	6
学校行事	College Calendar	7
学校組織	College Organization	8
1) 学科及び学生定員	Departments and Quota	8
2) 専攻科及び学生定員	Advanced Course and Quota	8
3) 教職員現員	Present Number of Staff	8
4) 役職者名	Administrative Staff	8
5) 組織図	Organization Chart	9
6) 各種委員会	Committees	9
教育体制	Educational System	10
育成しようとする技術者像	Our Vision of the "Ideal Engineer" at Tokuyama College	11
学習・教育目標	Educational Goal	12
各学科／専攻で修得する技術	Technological Skills the Students Are Required to Master	13
具体的到達目標	Concrete Goals for the Students to Achieve	14
教育プログラム	Engineering Education Program	15
機械電気工学科	Dept.of Mechanical and Electrical Engineering	16
情報電子工学科	Dept.of Computer Science and Electronic Engineering	20
土木建築工学科	Dept.of Civil Engineering and Architecture	24
一般科目	Liberal Arts Division	28
専攻科	Advanced Courses	30
機械制御工学専攻	Mechanical and Control Engineering Course	33
情報電子工学専攻	Computer Science and Electronic Engineering Course	34
環境建設工学専攻	Environmental and Civil Engineering Course	35
図書館	Library	36
情報処理センター	Information Processing Center	37
テクノ・リフレッシュ教育センター	Center for Collaborative Research and Education	38
教員の FD 活動	Faculty Development	39
教員の研究活動	Research Activities	40
1) 科学研究費助成事業申請状況	Number of Applicants Scientific Research	40
2) 科学研究費助成事業採択状況	Grant-in-Aid for Scientific Research	40
3) 寄附金受入状況	The Amount of Donations Received	40
4) 共同研究受入状況	Joint Research with Private Enterprises	40
社会との連携	Cooperation with Society	41
1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業	What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies	41
2) 公開講座等	Extension Courses	41
3) 夏休みジュニア科学教室	Science Courses Offered for Children during Summer Vacation	42
4) 地域からの依頼による工作教室等	Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities	42
5) 公的な機関からの依頼による各種委員等	Committee Member Posts Appointed by Public Organizations	43
学生	Students Statistics / Financial Information	44
1) 学科定員及び現員	Quota and Enrollment in Departments	44
2) 専攻科定員及び現員	Quota and Enrollment in Advanced Course	44
3) 学科別入学志願者状況	Number of Applicants in Departments	44
4) 専攻別入学志願者状況	Number of Applicants in Advanced Course	44
5) 本科出身地別在学学生数	Hometown Classification of Students	45
6) 修学経費	Educational Cost	45
7) 高等学校等就学支援金制度	Subsidies for High School Attendance	45
8) 奨学制度	Scholarships	45
9) 授業料減免制度	Reduction of the Tuition Fee System	45
外部からの学生の受け入れ	Acceptance of Foreign Students and Transferees	46
1) 外国人留学生及び編入学生	Foreign Students and Transferees	46
2) 編入学生	Transferees	46
3) 研究生及び聴講生制度	Research Students and Auditors	46
国際交流	International Exchange	47
学寮	Dormitory	48
学生会	Student Council	49
就職・進学状況	Employment and Entering to Universities	50
1) 求人及び進路状況	Job offers and Classification of Graduates	50
2) 就職先	Employment	50
3) 進学（編入学）状況	Entrance to Universities	50
4) 職種・就職先地域	Job Classification and The Area of the Employment	51
配置図	Campus Map	52
施設の概況	Facility Information	53
学校所在地	Location Map	54
周南市の紹介	Guide to Shunan City	55



校章の由来

校章は、学校の所在地山口県徳山市（現在の周南市）の市章を基盤に、高専の文字を配して図案化したものです。翼にのってどこまでも飛躍と向上を求める青年学徒の理想を示しています。

建学の理念

The Founding Ideal of Tokuyama College



技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、
広く社会の安全と人々の幸福に寄与する

To foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, and to contribute to a more stable society and universal happiness.

徳山高専は、創設時に初代校長城温三先生が示された「技術を愛する人物、信頼される人物」の育成を教育の目標としてきた。以来、本校は全人教育の上に立った創造的技術者の育成を目指し、広く社会のために役立つ有為な人材を送り出すよう努力を重ねてきた。創設40周年を迎えた平成26年3月、本校はこの受け継がれてきた精神を「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」と表記し、建学の理念として定めた。

(題字は、坂本 杏 苑^{さかもと きょうえん}氏の書による)

The educational purpose of Tokuyama college is to foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, which was advocated by the first president of Tokuyama college, Onzo Jyo .

In order to realize this educational purpose, we have made every effort to nurture creative engineers, launching promising graduates into society.

To mark the 40th anniversary of the founding of the school in March 2014, the following ideal was established: “We seek to foster individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others, and contribute to a more stable society and universal happiness”.

(masthead written by Kyoen Sakamoto)

三つのポリシー

Policy

建学の理念、育成すべき人材像、学習・教育目標

本校では、建学の理念「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」に基づき、以下に示す技術者像を体現する人材の育成を目的としています。

【本科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

【専攻科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

これらの技術者像の策定に際しては、卒業生および修了生の活躍分野が業種・職種ともに多岐にわたっていることを考慮し、多くの技術分野で必須である「情報技術」をベースとしながら、本校開校以来の伝統である「複合技術」を強みとして活躍できる人材を想定しています。ただし、本科と専攻科では修業年限が異なりますので、めざす技術者像は自ずと異なってきます。しかし、それらはいずれも社会の要請に応えるものではなくてはなりません。そこで本校では、「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」という学習・教育目標の下で、本科では「発見した技術的課題を解決できる技術者」を、専攻科ではそこから「新たなものを設計・開発できる技術者」の育成を目的としています。

ディプロマポリシー（卒業・修了認定の基本方針）

本校では、所定の年限在籍し、所定の単位および以下に示す資質能力を修得した学生に対して、卒業・修了を認定します。

<修得すべき資質能力（全学科・専攻共通）>

- ・基礎工学、自然科学、人文・社会科学および複合分野の基礎となる基本的素養を身につけるとともに、複合分野にわたる知識を有機的に結びつけて、本科では「発見した技術的課題を解決できる能力」を、専攻科では「新たなものを設計・開発できる能力」を修得している。
- ・国際理解、技術者倫理など、世界のどこで活躍しようとも必要となる教養、感性と判断基準を持ち、意志の疎通を図るに十分な語学力・コミュニケーション能力を修得している。
- ・問題を見つけたすために情報を収集・分析する力があり、自主的に自立してその問題の解決に取り組む意欲と実践力、その成果を人に伝えるために必要な表現力を修得している。
- ・問題に応じて知識を体系化して問題の解決策を見つけることができること、また、新しい情報を理解して、既存の知識と合わせて、独自の新しい情報を発信できる能力を修得している。

<修得すべき資質能力（機械電気工学科・機械制御工学専攻）>

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術者（メカトロニクス技術者）」として必要不可欠となる、機械工学・電気工学分野をコアとする幅広い知識と技術を活用した課題解決能力を本科で修得している。専攻科ではさらに設計・開発を行う应用能力を修得している。

<修得すべき資質能力（情報電子工学科・情報電子工学専攻）>

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術者（情報電子技術者）」として必要不可欠となる、電子・情報・通信工学分野をコアとする幅広い知識と技術を活用した課題解決能力を本科で修得している。専攻科ではさらに設計・開発を行う能力を修得している。

<修得すべき資質能力（土木建築工学科・環境建設工学専攻）>

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術者（社会環境整備技術者）」として必要不可欠となる、土木工学・建築学分野をコアとする幅広い知識と技術を活用した課題解決能力を本科で修得している。専攻科ではさらに設計・開発を行う能力を修得している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）

本校では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しています。

<全学科・専攻共通>

リベラル・アーツ科目群：豊かな教養を身につけること、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、自然科学、人文・社会科学、外国語、芸術などに関する基礎科目が本科・専攻科を通して教育課程に組み込まれています。

<機械電気工学科・機械制御工学専攻>

- 1) 機械工学・電気工学の基礎・応用科目群：いわゆる機械工学（材料力学、水力学、熱力学、機械力学など）および電気工学（電気回路、電子回路、電磁気学など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（ロボット制御工学、応用計測工学など）が用意されています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的な工学実験、工作実習、設計製図（および専攻科における総合実験）などの実技科目が用意されています。

- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：創造演習・創造製作、知的財産権、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）などの、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力といった総合的能力を開発するための科目が用意されています。

<情報電子工学科・情報電子工学専攻>

- 1) 電子・情報・通信工学の基礎・応用科目群：いわゆる情報工学（情報理論、コンピュータアーキテクチャ、プログラミングなど）および電気・電子工学（電磁気学、アナログ回路、ディジタル回路など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（画像処理応用、生体情報工学など）が用意されています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的なプログラミング関連科目、電子工学実験、情報システム実験、電子通信システム実験（および専攻科における総合実験）などの実技科目が用意されています。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：知的財産論、創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）などの、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力といった総合的能力を開発するための科目が用意されています。

<土木建築工学科・環境建設工学専攻>

- 1) 土木工学・建築学の基礎・応用科目群：いわゆる土木工学（土木構造・材料学、水工学、地盤工学、測量学など）および建築学（建築構造・材料学、建築計画学、建築環境・設備学、都市計画学など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（建設プログラミング、都市環境計画学、地形情報処理学など）が用意されています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的な工学デザイン、工学実験、測量実習、情報処理、CAD（および専攻科における総合実験）などの実技科目が用意されています。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：集中測量実習、創造演習、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）などの、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力といった総合的能力を開発するための科目が用意されています。

<成績評価基準>

本校では、次のような成績評価基準を科目ごとに定めています。

- 1) 学期末における成績評価は、シラバスに示す評価方法に基づいて実施する。
- 2) 成績は100点法により採点し、評価は以下の優・良・可・不可の4段階とする。

優	(100～80点)
良	(79～70点)
可	(69～60点)
不可	(59～0点)

アドミッションポリシー（入学選抜の基本方針）

本校のアドミッションポリシーは、学習・教育目標「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす」を達成できる能力と意欲を持った学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

<準学士課程（本科）入学者および編入学者に求める学生像>

- ・数学や理科の基礎学力が身についている人
- ・コミュニケーション能力の基礎を身につけ、信頼される技術者を目指している人
- ・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

<専攻科入学者に求める学生像>

専攻科では、準学士課程（本科）入学者および編入学者に求める学生像に加え、さらに以下の素養を有する人を求めています。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身についている人
- ・コミュニケーション能力の基礎や倫理観が身についている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人

本校では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

<準学士課程（本科）入学者の選抜方針>

推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書および推薦書等の提出資料の内容に加え、作文および目的意識・意欲・適性などに関する面接の結果を総合的に評価します。学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、調査書の内容、学力検査の結果を総合的に評価します。

<編入学者の選抜方針>

編入学希望者の選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、調査書の内容、面接および学力検査の結果を総合的に評価します。

<専攻科入学者の選抜方針>

推薦による選抜においては、在籍中学校長が責任を持って推薦した者に対して、調査書および推薦書等の提出資料の内容に加え、卒業研究計画書に基づく口頭試問及び面接の結果を総合的に評価します。学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、調査書の内容、面接および学力検査の結果を総合的に評価します。

沿革

History

徳山工業高等専門学校は、時代の強い要望により、昭和49年6月に設立された国立工業高専です。学科は、機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の3学科と専攻科は機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻の3専攻より成り、それぞれの境界領域を含めた専門分野において基礎理論の習熟とともに実験実習に重点をおいた教育を行い、総合判断力に優れた実践力のある開発型技術者の育成をめざしています。

National Institute of Technology, Tokuyama College was founded in 1974. It consists of three departments - Mechanical and Electrical Engineering, Computer Science and Electronic Engineering, Civil Engineering and Architecture and three advanced courses-Mechanical and Control Engineering Course, Computer Science and Electronic Engineering Course, Environmental and Civil Engineering Course.

In 1995 advanced courses were added to meet today's demand in research and development.

昭和48年12月29日	徳山工業高等専門学校（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科各40名）創設が閣議決定
昭和49年5月8日	仮校舎を旧富岡小学校跡（旧徳山市大字下上）、仮寄宿舎を旧加見小学校跡（旧徳山市大字上村）に開設
6月7日	国立学校設置法の一部改正公布に伴い開校決定。初代校長 城温三（前山口大学工学部教授）就任
6月15日	第1回入学式挙行
昭和50年3月28日	第1期工事竣工
4月1日	学校所在地（旧徳山市久米高城3538）に移転
昭和51年3月27日	第2期工事竣工
昭和52年3月31日	陸上競技場、野球場が竣工
4月1日	事務に部制がしかれ、3課（庶務課、会計課、学生課）を設置
昭和57年3月31日	福利厚生施設、柔道場が竣工
昭和58年3月30日	第2体育館、合宿研修施設が竣工
4月8日	研究生の受け入れを開始
昭和60年4月8日	編入学生の受け入れを開始
昭和61年4月8日	聴講生の受け入れを開始
昭和62年4月1日	外国人留学生の受け入れを開始
4月10日	1、2年の混合学級の制度を開始
平成3年3月12日	男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を設置
10月1日	地域協力開発センター発足
平成4年4月1日	学校週5日制を開始
平成6年3月25日	男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を増設
4月7日	地域協力開発センターに代わり、テクノ・リフレッシュ教育センター発足
11月4日	テクノ・リフレッシュ教育センター竣工
平成7年4月1日	専攻科（機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻各4名）設置
平成9年3月28日	専攻科棟竣工
12月6日	徳山高専テクノ・アカデミア発足
平成11年7月31日	視聴覚棟（メディアホール）竣工
平成16年4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構として発足
5月10日	日本技術者教育認定機構（JABEE）から、「設計情報工学」プログラムが工学（融合複合・新領域）関連分野に認定
6月19日	創立30周年記念式典挙行
平成18年10月2日	住所表示が「周南市学園台」に変更
平成19年3月28日	大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価に認定
4月1日	事務部が、2課制（総務課、学生課）に再編成
12月1日	徳山高専テクノ・アカデミア創立10周年記念行事挙行
平成21年4月5日	2年生混合学級廃止
4月23日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
平成24年4月27日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
平成25年3月27日	大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定が継続
平成26年9月26日	創立40周年記念式典挙行
平成27年3月9日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
4月1日	大学評価・学位授与機構による専攻科の学士の学位の授与に係る特例の適用が認定

学校行事

College Calendar

学年は前期と後期の2学期制です。

The academic year is divided into two semesters.

平成 29 年 2017

前期 First Semester

4月1日～3日	春季休業	April	Spring Vacation
4月4日	第44回入学式・第23回専攻科入学式		Entrance Ceremony
4月5日	始業		Opening of First Semester
4月17日～18日	1年生合宿研修		Freshmen's Orientation Days
4月25日	クラスマッチ		Spring Field Day
6月7日	開校記念日	June	School's Anniversary
6月7日～13日	前期中間試験		Midterm Examinations
7月7日～9日	中国地区高専体育大会 (米子高専、松江高専)	July	Chugoku District Intercollegiate Sports Competition
7月10日	臨時休業		Holiday
7月27日～8月3日	前期末試験		Term End Examinations
8月10日	終業	August	Last Day of Class
8月11日～9月24日	夏季休業		Summer Vacation
8月18日～8月31日	全国高専体育大会 (小山高専)		National Intercollegiate Sports Competition

後期 Second Semester

9月25日	後期授業開始	September	Opening of the Second Semester
10月4日	クラスマッチ	October	Autumn Field Day
10月8日～9日	全国高専プログラミングコンテスト (大島商船)		National Intercollegiate Programming Contest
10月15日	高専ロボコン 中国地区大会 (徳山高専)		Chugoku District Intercollegiate Robot Contest
11月4日～5日	高専祭	November	College Festival
11月6日	臨時休業		Holiday
11月17日～24日	後期中間試験		Midterm Examinations
12月2日～3日	全国高専デザインコンペティション (岐阜高専)	December	National Intercollegiate Design Competition
12月22日	終業		Last Day of Class
12月25日～1月8日	冬季休業		Winter Vacation
平成30年 2018			
1月9日	始業	January	First Day of Class
2月6日～14日	後期末試験	February	Term End Examinations
2月19日	臨時休業		Holiday
2月22日	終業		Closing of Second Semester
2月23日～3月31日	学年末休業		Year End Vacation
3月16日	第40回卒業式・第22回専攻科修了式	March	Graduation Ceremony

学校組織

College Organization

(1) 学科及び学生定員 Departments and Quota

学 科 名 Department	入学定員 Quota	学生定員 Total
機 械 電 気 工 学 科 Department of Mechanical and Electrical Engineering	40	200
情 報 電 子 工 学 科 Department of Computer Science and Electronic Engineering	40	200
土 木 建 築 工 学 科 Department of Civil Engineering and Architecture	40	200
計 Total	120	600

(2) 専攻科及び学生定員 Advanced Course and Quota

専 攻 名 Course	入学定員 Quota	学生定員 Total
機 械 制 御 工 学 専 攻 Mechanical and Control Engineering Course	4	8
情 報 電 子 工 学 専 攻 Computer Science and Electronic Engineering Course	4	8
環 境 建 設 工 学 専 攻 Environmental and Civil Engineering Course	4	8
計 Total	12	24

(3) 教職員現員 Present Number of Staff

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

区分 Classification	教育職員 Academic Staff									技術職員 Technical Staff	事務職員 Administrative Staff	合 計 Total
	校 長 President	教 授 Professor	嘱託教授 Professor on a short-term contact	特命教授 A Specially Appointed Professor	准教授 Associate Professor	講 師 Lecturer	嘱託講師 Lecturers on a short-term contact	助 教 Assistant Professor	特命助教 A Specially Appointed Assistant Professor			
現員 Present Number	1	29*	1	2	25	0	1	6	2	14	45	126

* 高専機構本部との併任1名を含む

(4) 役職者名 Administrative Staff

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

校長 President 勇 秀 憲 ISAMI, Hidenori	キャリア教育支援室長 Chief of Career Support Center 中 川 明 子 NAKAGAWA, Akiko
副校長（教務主事） Vice President (Dean of Academic Affairs) 古 田 健 一 FURUTA, Ken-ichi	研究推進室長 Director of Research Promotion Division 山 田 健 仁 YAMADA, Takehito
校長補佐（学生主事） Assistant President (Dean of Student Affairs) 池 田 光 優 IKEDA, Mitsumasa	図書館長 Director of the Library 柏 倉 知 秀 KASHIWAKURA, Tomohide
校長補佐（寮務主事） Assistant President (Dean of Dormitory Affairs) 橋 本 堅 一 HASHIMOTO, Ken-ichi	教育・研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research 百 田 正 広 MOMOTA, Masahiro
校長補佐（専攻科長） Assistant President (Chief of Advanced Courses) 重 村 哲 至 SHIGEMURA, Tetsuji	テクノ・リフレッシュ教育センター長 Director of Center for Collaborative Research and Education 山 田 健 仁 YAMADA, Takehito
校長補佐（総合企画室長） Assistant President (Chief Planning and Coordination Officer) 天 内 和 人 AMANAI, Kazuhito	情報処理センター長 Director of Information Processing Center 新 田 貴 之 NITTA, Takayuki
校長補佐（研究・産学連携担当） Assistant President (Research and Industry-Academia Collaboration) 山 田 健 仁 YAMADA, Takehito	国際交流室長 Chief of International Exchange Office 北 村 健太郎 KITAMURA, Kentaro
機械電気工学科主任 Chief of Mechanical and Electric Eng. 櫻 本 逸 男 SAKURAMOTO, Itsuo	教育改善IR室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office 西 村 太 志 NISHIMURA, Futoshi
情報電子工学科主任 Chief of Computer Science and Electronic Eng. 義 永 常 宏 YOSHINAGA, Tsunehiro	事務部長 Director of the Administration 東 善 和 AZUMA, Yoshikazu
土木建築工学科主任 Chief of Civil Eng. and Architecture 佐 賀 孝 徳 SAGA, Takanori	総務課長 Chief of General Administration Division 関 谷 直 樹 SEKITANI, Naoki
一般科目主任 Chief of Liberal Arts Division 吉 留 文 男 YOSHIDOME, Fumio	学生課長 Chief of Student Affairs Division 貞 野 修一郎 SADANO, Shuichiro
学生相談室長 Chief Counselor 原 田 徳 彦 HARADA, Norihiko	

(5) 組織図 Organization Chart



(6) 各種委員会 Committees

運営委員会	Steering Committee	知的財産委員会	Intellectual Property Committee
人事委員会	Personnel Committee	情報セキュリティ管理委員会	Information Security Management Committee
予算委員会	Budget Committee	情報セキュリティ推進委員会	Information Security Promotion Committee
教務委員会	Academic Affairs Committee	情報公開委員会	Information Disclosure Committee
専攻科委員会	Advanced Course Committee	安全衛生委員会	School Safety and Hygiene Committee
入学試験委員会	Admissions Committee	ハラスメント防止委員会	Harassment Prevention Committee
専攻科入学試験委員会	Advanced Course Admissions Committee	男女共同参画推進委員会	Committee for Promotion of Gender Equality
厚生補導委員会	Student Affairs Committee	紀要編集委員会	College Bulletin Committee
学生支援委員会	Student Services Committee	ロボットコンテスト実行委員会	Robot Contest Committee
学寮運営委員会	Dormitory Affairs Committee	サテライト運営委員会	Satellite Campus Committee
施設マネジメント委員会	Facilities Management Committee		

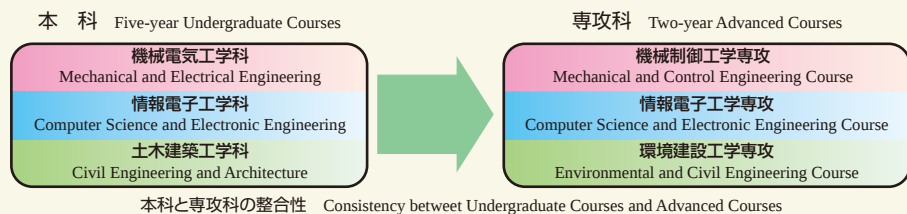
教育体制

Educational System

我が国の教育体系は大きく二つに分かれています。一つは高校から大学へと続くものであり、他の一つは高専本科から専攻科へと続くものです。本科は5年制の課程で、卒業すると「準学士」になります（準学士課程）。専攻科は2年制の課程で、徳山高専では、全員が「学士」となって課程を修了します（専攻科課程）。

There are mainly two educational courses to take in Japan. One is a tier of a three-year high school followed by a four-year college. The other is a tier of a five-year national institute of technology continued with two-year advanced course. When you have completed the five-year undergraduate course here at National Institute of Technology, Tokuyama College, you will be able to earn an associate bachelor's degree. Also, when you have finished the two-year advanced course here, you will be able to get a bachelor's degree.

本校は本科に3学科、専攻科に3専攻を設置しており、それぞれ1対1に対応しています。そのため、本科における複合教育を専攻科においても継続して行うことができ、日本における複合教育のパイオニア的役割を、引き続き果たしています。



Our college has three five-year undergraduate courses and each undergraduate course is followed by its corresponding two-year advanced course. This educational system makes it possible to continue providing consistent interdisciplinary engineering education for the advanced course students. Thus, our college is playing a leading role in interdisciplinary education in Japan.

徳山高専の教育理念 (建学の理念から学習・教育目標まで)

I. 建学の理念

技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、
広く社会の安全と人々の幸福に寄与する

II. 育成しようとする技術者像

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、

【専攻科】 設計・開発を行う素養をもつ技術者

【本科】 技術的課題を解決できる技術者

III. 学習・教育目標「世界に通用する / 実践力のある / 開発型技術者をめざす人材の育成」

学習・教育到達目標

(A) 「世界に通用する技術者」

(A 1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
(A 2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

(A) 「世界に通用する技術者」

(A 1) 基本的素養
(A 2) 倫理観とコミュニケーション能力

(B) 「実践力のある技術者」

(B 1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
(B 2) 自主性と自立性を養うこと

(B) 「実践力のある技術者」

(B 1) 情報技術と表現力
(B 2) 自主自立

(C) 「開発型技術者」

(C 1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
(C 2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

(C) 「開発型技術者」

(C 1) 設計能力
(C 2) 課題把握と解決能力

育成しようとする技術者像

Our Vision of the “Ideal Engineer” at Tokuyama College

本校では、建学の理念に基づき、次のような技術者を育てようとしています。

We seek to foster engineers upon our founding ideals:

【本科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

To bring up engineers with technological problems solving skills capable of utilizing interdisciplinary technologies based upon information technology.

【専攻科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

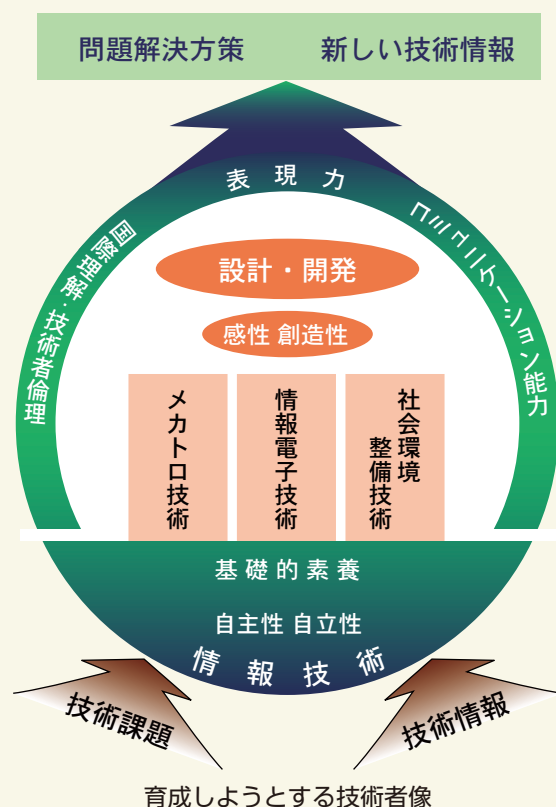
To nurture engineers capable of conducting research and development with interdisciplinary technologies based upon information technology.

これは、徳山高専の活躍分野が、業種・職種ともに多岐にわたっていることから、多くの技術分野で必須である「情報技術」をベースとし、それに、本校開校以来の伝統である「複合技術」を活用して活躍する技術者を想定しています。

ただし、本科と専攻科では修業年限が異なりますので、めざす技術者像は自ずと異なってきます。しかし、それらはいずれも社会の要請に応えるものでなくてはなりません。そこで本科では、発見した「技術的課題を解決できる技術者」を、専攻科ではそこから新たなものを「設計・開発できる技術者」を育てようとしています。

Tokuyama College offers professional qualifications based on information technology for a variety of occupations and industries. Since its founding we have aimed at fostering engineers capable of utilizing interdisciplinary technologies.

There are two courses available – Regular Course and Advanced Course. Each course has its own vision. But essentially both courses must meet society's high expectations. For this reason, we nurture engineers with skills for solving technological problems at the level in the Regular Course, and produce engineers capable of conducting research and development in the Advance Course.

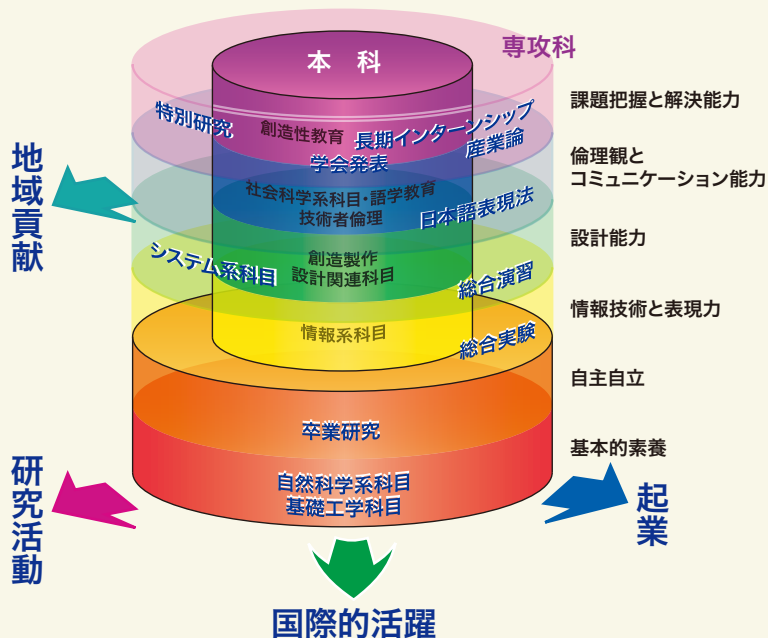


学習・教育目標

Educational Goal

世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成

To educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development



徳山高専は、「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」を、平成5年度から教育目標として掲げてきました。平成14年度にはその内容をさらに具体化し、次に示す6つの学習・教育到達目標にまとめました。左のイラストは、そのイメージをまとめたものです。

National Institute of Technology, Tokuyama College has put “to educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development” forward as its educational goal since 1993. Based on the educational goal, our college set the following six concrete goals in 2002. The chart on the left illustrates how these goals are pursued in our college.

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
- (A) In order to educate our students to be future engineers with a world-class competitive edge, we get them
- (A1) to acquire basic knowledge to apply to interdisciplinary fields, and
 - (A2) to deepen their global understanding, cultivate their ethics for engineers, and improve their communicative ability.
- (B) In order to educate our students to be future engineers with practical skills, we get them
- (B1) to be able to utilize information technology and improve their presentation ability through practice and internship programs, and
 - (B2) to be independent.
- (C) In order to educate our students to be future engineers with competence in research and development, we get them
- (C1) to improve the ability to combine and organize their knowledge of various fields, and
 - (C2) to be able to analyze, address and solve problems and polish their sensibility and creativity.

各学科／専攻で修得する技術

Technological Skills the Students Are Required to Master

本校は本科と専攻科が1対1に対応しているため、学科／専攻を通して修得する技術を定めています。また、本科卒業生と専攻科修了生のめざす技術者像も踏まえ、各学科と専攻で修得する技術を明確にしました。

Our college has three five-year undergraduate courses and each undergraduate course is followed by its corresponding two-year advanced course. The technological skills that the undergraduate and advanced course students are required to master in common have already been shown, in addition, on the basis of the images of a desirable engineer that our college aims to send out into society, we have specified the following as technological skills that the undergraduate and advanced course students are required to master respectively.



機械電氣工学科

「コンピュータで制御する機械を
設計・製作する技術」
Technological skills to design and produce
machines controlled by computers

機械制御工学専攻

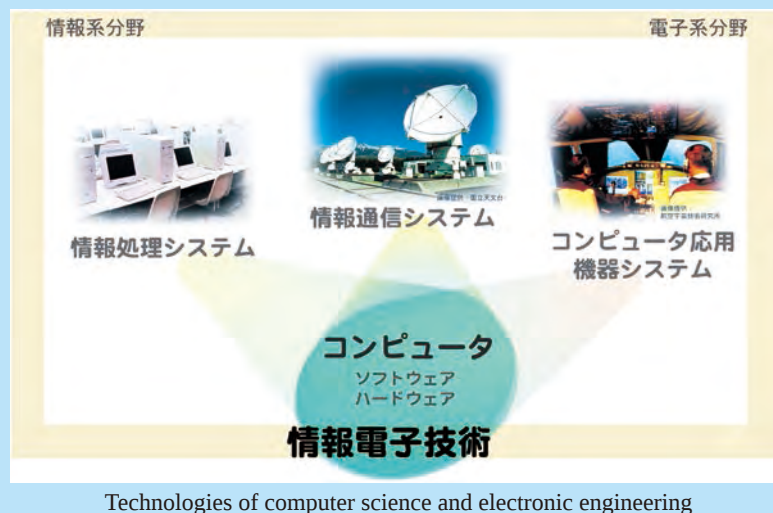
「コンピュータで制御する機械を
設計・開発する技術」
Technological skills to design and develop
machines controlled by computers

情報電子工学科

「コンピュータ技術をベースに
電子情報通信システムを
設計・構築する技術」
Technological skills to design and build computer-
based electronic telecommunications systems

情報電子工学専攻

「コンピュータを核とする多様なシステムを
設計・開発する技術」
Technological skills to design and develop
various computer-based systems



土木建築工学科

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を
設計・施工する技術」
IT-based skills to design and construct
infrastructure and architectural space

環境建設工学専攻

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を
設計・開発する技術」
IT-based skills to design and develop
infrastructure and architectural space

具体的到達目標

Concrete Goals for the Students to Achieve

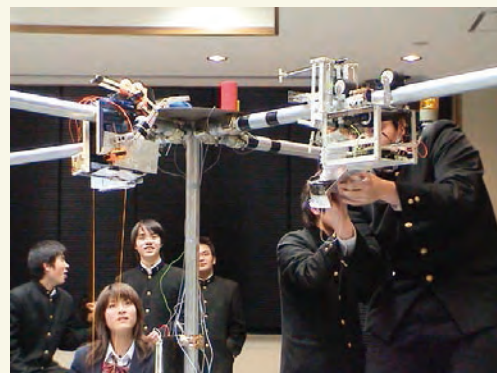
本科卒業生と専攻科修了生のめざす到達目標を、学習・教育目標に沿って、より具体的に定めました。この具体的目標は、準学士課程と専攻科課程を終えるとき、全員が到達する内容を示しています。

In line with our educational goal, our college has set more specific goals for undergraduate and advanced courses respectively. All the students are supposed to achieve the following goals when they have completed their undergraduate and advanced courses.

準学士課程卒業時

When You Have Completed the Undergraduate Course

- (A)「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
 - ・ 自らの目標を定め、外部試験を活用して、英語力のステップアップを図る
- (B)「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報関連・実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C)「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ 創造系の科目を修得する
 - ・ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う



専攻科課程修了時

When You Have Completed the Advanced Course

- (A)「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - ・ 学士を取得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
- (B)「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報関連・実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C)「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - ・ 総合科目（2科目以上）及び総合演習の科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ インターンシップ及び特別研究の科目を修得する
 - ・ 国内外の学協会で発表を行う



教育プログラム

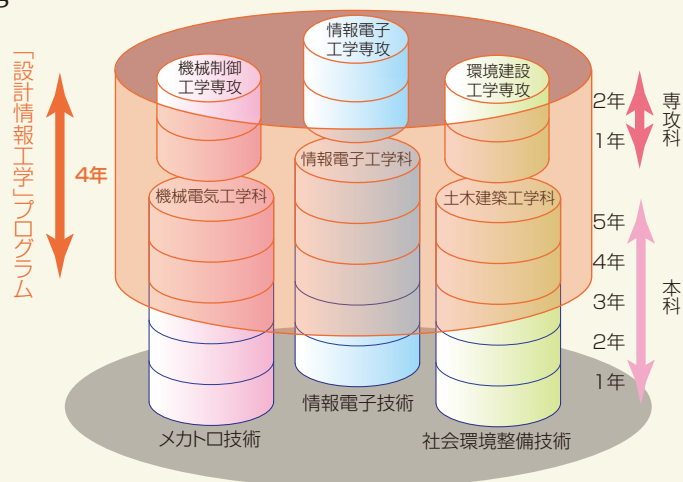
Engineering Education Program

「設計情報工学」プログラム

Communication and IT-based Design Engineering

徳山高専では、本科4・5年と専攻科のカリキュラムで「設計情報工学」プログラムを構成しています。この教育プログラムは、平成15年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、国際的に通用する教育の品質が保証された教育プログラムとして、工学（融合複合・新領域）関連分野において認定されました。本校では、本科・専攻科とも3つの複合学科に分かれていますが、「設計情報工学」プログラムでは本校の教育全体をまとめて一本化しました。これは、専門とする知識や得意分野は違っていても、目標とする技術者像は同じであり、また、教育方法も共通するところが多いからです。

「設計情報工学」プログラムを修了することにより、4年制大学と同等の教育内容が保証されることはもちろん、高度情報化社会において開発型技術者として活躍するために必要とされる能力を兼ね備えた人材として、大きく飛躍していくことが期待されます。



「設計情報工学」プログラム構成図

At our college, the curriculums for the fourth and fifth-year undergraduate course students and the advanced course students constitute the engineering education program, “Communication and IT-based Design Engineering.” In 2003, this educational program was accredited as a general engineering program that is on a par with global standard by the Japan Accreditation Board for Engineering Education.

Though our college has three different undergraduate courses followed by three corresponding advanced courses, we have adopted this educational program as one that can comprehensively be applied to all the courses. For these three courses have a lot in common in terms of their educational goal and educational methods despite the differences in their expertise and strong compound technologies.

Any student who completes the JABEE program in Communication and IT-based Design Engineering is guaranteed to get a university-level education. On top of that, any student who completes the educational program is expected to play an active part as a competent engineer in various areas of research and development in a highly-developed information-oriented society.

JABEE（日本技術者教育認定機構）とは？

Japan Accreditation Board for Engineering Education

日本技術者教育認定機構の略称で、大学や高専など高等教育機関で行われている「技術者教育プログラム」が社会の要求水準を満たしているかどうかを評価・認定します。JABEEは、技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定であるワシントン・アコードに2005年から加盟しており、JABEEによる認定は、教育環境も含め、入学から卒業までの教育プロセスすべてを含めたもので、我が国の工学（技術）教育を質的に向上させ、国際的に通用させることをめざしています。

JABEE stands for Japan Accreditation Board for Engineering Education. By assessing and accrediting the engineering education programs provided by institutions of higher education such as colleges of technology and universities, JABEE ensures the international equivalency of the quality of education the colleges and universities offer. JABEE has been accredited by Washington Accord which is an international agreement among bodies responsible for accrediting engineering degree programs since 2005. JABEE assesses and accredits the whole process of education at Japanese colleges and universities including educational environments. The ultimate goal of JABEE is to raise the level of engineering education programs in Japan to a global standard.



JABEE認定証

機械電気工学科

Department of Mechanical and Electrical Engineering

めざせ創造性豊かなメカトロニクス・エンジニア

あらゆる産業分野やさまざまな人間生活の場面では、機械は人間を助けて幅広く活躍しています。これらの急速に発展を遂げつつある機械の特徴は、電気で駆動され、コンピュータで制御されるということで、機械と電気・電子技術が複合したメカトロニクス技術が大変重要な技術となっています。徳山高専機械電気工学科は、学科の教育目標として、「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術者の育成」を掲げ、最も早い段階から取り組んできた先進的な学科です。ところで現在の日本は、世界の産業分野でのリーダーであることが求められると同時に、産業構造の転換やさらに地球環境と共存できる技術システムの構築という大きな課題を抱えております。これらを克服していくためには、自ら新しい技術を生み出していくしかありません。すなわち創造性豊かな技術者が今ほど求められたことはなかったと思われます。

機械電気工学科ではこれらの課題に応えるべく、創造性豊かなメカトロニクス・エンジニアを育成するための教育プログラムをいち早く作成し、低学年から自発性、創造性を育成できるように、実践を重視しながら教育を行っています。

Mechanical and Electrical Engineering is the basis for all industries and for our lives. Our department provides extensive training in Computer Science subjects as well as in Mechanical, Electrical and Electronic Engineering subjects.

Our department curriculum offers courses in creativity which will inspire students to be imaginative engineers with applicable ability.



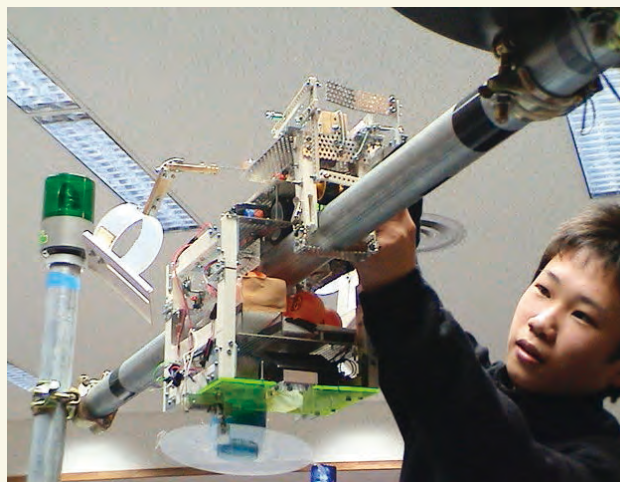
CADによる設計製図
Design and Drawing by 3D CAD



ロボットの設計と製作
Design and Making of Robots



マシニングセンタを用いた工作実習
Machining Center Workshop Practice



創造製作の授業風景
Presentation of Creative Production I

教育課程の特色 Features of Curriculum

メカトロニクス技術を習得するために、機械系科目を中心として電気・電子、コンピュータ・制御に関する科目が設けられています。また創造力を有するエンジニアとなるためには、自ら意欲的に課題に取り組むと同時に、未知の課題へのアプローチの仕方を学ぶことが重要です。このような力を養う目的で創造演習が設けられています。また、創造製作では自由な発想に基づくものづくりを行い、創造性を養うと同時に、ものづくりに必要な計画力や創造的遂行能力を身につけられるようにしています。

さらに、網羅的な科目の開設をやめて、主要な科目に精選してメカトロニクス技術者に不可欠な内容をしっかり身につけられるような工夫がされています。

The department of Mechanical and Electrical Engineering provides a curriculum with in-depth study of subjects related to mechanical engineering. Creative engineers are sought throughout the world. Therefore, students have to master two abilities: one is to meet the challenges; and the other is to learn how to solve problems. The courses designed in our curriculum, “Creation and Research Practice” and “Creative Production” address that particular issue.

Our department curriculum focuses on essential subjects to master indispensable techniques and knowledge for mechanical and electrical engineering.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目 Subjects		単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必修科目 Required Subjects	工作実習Ⅰ	Workshop Practice I	2	2			
	工作実習Ⅱ	Workshop Practice II	2	2			
	工学実験Ⅰ	Experiments in Engineering I	1		1		
	工学セミナー	Seminar in Engineering	1			1	
	電気回路Ⅰ	Electric Circuit I	1		1		
	電子回路Ⅰ	Electronics Circuits I	2		2		
	※ 電磁気学	Electromagnetism	2			2	
	材料力学Ⅰ	Materials and Mechanics I	1		1		
	水力学Ⅰ	Fluid Mechanics I	1		1		
	※ 熱力学	Thermodynamics	2			2	
	※ 工学実験Ⅱ	Experiments in Engineering II	3			3	
	卒業研究	Graduation Research	8				8
	履修単位計	Total Credits Required	26	2	2	6	8
	機械の基礎	Introduction of Mechanical Engineering	1	1			
必修履修科目 Subjects Required to Take	電気の基礎	Basis of Electricity	1	1			
	技術発達史論	Development of Technology	1	1			
	知的財産権	Intellectual Property	1		1		
	※ 技術者倫理	Engineering Ethics	1				1
	工業英語Ⅰ	English for Industrial Technology I	1		1		
	※ 工業英語Ⅱ	Industrial English II	1				1
	※ 関数論	Theory of Functions	1			1	
	※ 確率・統計	Probability and Statistics	1			1	
	※ フーリエ変換	Fourier Analysis	1				1
	コンピュータ基礎	Computer Literacy	1	1			
	プログラミング基礎	C Language Programming	2	2			
	プログラミング応用	Applied Programming	1		1		
	※ 数値計算	Numerical Mathematics	1				1
	※ 電気回路Ⅱ	Electric Circuit II	1			1	
	※ 電子回路Ⅱ	Electronics Circuits II	1			1	
	アクチュエータ	Actuator	1		1		
	※ 制御工学Ⅰ	Control Engineering I	1			1	
	※ 制御工学Ⅱ	Control Engineering II	2				2
	※ 計測工学	Measurement II Engineering	2				2
	加工学	Working and Processing Methods	1	1			
	機構学	Mechanisms	1		1		
	工業力学	Industrial Dynamics	1		1		
	※ 機械力学Ⅰ	Mechanical Dynamics I	1			1	
	※ 機械力学Ⅱ	Mechanical Dynamics II	1				1
	※ 計算力学	Computational Mechanics	1				1
	材料学Ⅰ	Materials I	2		2		
	※ 材料学Ⅱ	Materials II	1			1	
	※ 材料力学Ⅱ	Materials and Mechanics II	2			2	
	※ 弾塑性論	Elasto-Plasticity	1				1
	※ 水力学Ⅱ	Fluid Mechanics II	1			1	
	※ 熱機関	Heat Engine	1				1
	※ 機械設計論Ⅰ	Mechanical Design I	2			2	
	※ 機械設計論Ⅱ	Mechanical Design II	1				1
	基礎設計製図Ⅰ	Fundamental Mechanical Design and Drawing I	2	2			
	基礎設計製図Ⅱ	Fundamental Mechanical Design and Drawing II	2	2			
	設計製図Ⅰ	Mechanical Design and Drawing I	1		1		
	※ 設計製図Ⅱ	Mechanical Design and Drawing II	1			1	
	※ 設計製図Ⅲ	Mechanical Design and Drawing III	1				1
	創造演習Ⅰ	Seminar for Creative Thinking I	1	1			
	創造演習Ⅱ	Seminar for Creative Thinking II	1		1		
	創造製作Ⅰ	Creative Production I	2	2			
	コンピュータ制御	Computer Control	2		2		
	※ 創造製作Ⅱ	Creative Production II	2			2	
	履修単位計	Total Credits Required	55	7	7	12	15
選択科目 Elective Subjects	総合実地演習Ⅰ	Internship Program I	1		1		
	総合実地演習Ⅱ	Internship Program II	2		2		
	校外実習Ⅰ	Internship I	1			1	
	校外実習Ⅱ	Internship II	2			2	
	※ 環境リサイクル論	Environment and Recycling	1				1
	※ 一般物理	General Physics	1				1
	※ 機能材料	Innovative Materials	1				1
	※ ターボ機械	Turbo Machine	1				1
	※ 伝熱工学	Heat Transfer	1				1
	※ 有限要素法	Finite Element Method	1				1
	※ 流体力学	Fluid Dynamics	1				1
	※ベンチャービジネス論	Theory of Venture Business	1				1
	特別講義Ⅰ	Special Lecture I	1				1
	特別講義Ⅱ	Special Lecture II	1				1
	開設単位計	Offered	16		3		10
	履修単位計	Total Credits Required	5			3	5
履修単位合計		Total of Required Subject Credits	86	9	9	18	27
一般科目履修単位合計		Total of Required General Subject Credits	82	25	25	16	3
専門科目履修単位合計		Total of Required Technical Subject Credits	86	9	9	18	27
合計		Total of Required Credits	168	34	34	34	30

注 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

教 員 Teaching Staff

職 名 Title	氏 名 Name	研 究 テ ー マ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校 務 School Affairs
教 授 Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	伊藤 尚 ITO, Hisashi	先端材料の加工法や強度評価に関する研究 Processing and Strength Evaluation of Advanced Materials 再生可能エネルギーを応用したものづくり教育 Engineering Design Education Applying Renewable Energy	材料工学 Materials Engineering	国際交流室員 International Exchange Officer 総合企画室主務 Planning and Coordination Officer 学生相談室相談員 Counselor
教 授 Professor 工学博士 Dr.Eng.	藤田 重隆 FUJITA, Shigetaka	三次元自由噴流のパッシブコントロール Passive Control of Three-dimensional Free Jet ノズルアスペクトピッチ比が複数長方形噴流の発達に及ぼす影響 Effect of the nozzle pitch aspect ratio on the development of the multiple rectangular jets	流体工学 Fluid Mechanics 流体機械 Fluid Machinery	機械電気工学科5年担任 Class Teacher
教授 Professor 技術士 (機械、原子力・放射線、総合技術監理) Professional Engineer	大西 祥作 ONISHI, Shosaku	装置類の保守＆保全に関する研究および機械設計法教育に関する研究 Study of maintenance plan & management of equipment's Study of education of mechanical design	機械設計 Mechanical design	テクノ・リフレッシュ教育センター副センター長 Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
教 授 Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	櫻本 逸男 SAKURAMOTO, Itsuo	人工関節の機能高度化に関する研究 Improvement of Artificial Knee Joint 軟組織用試験機の開発 Design of Testing System for Soft Tissue	機械力学 Dynamics of Machinery 電子制御 Electronic Control	学科主任 Chief of the Department
教 授 Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	西村 太志 NISHIMURA, Futoshi	低サイクル疲労に関する研究 Study on Low Cycle Fatigue ナノインデンテーション試験法の開発 Application of Nanoindentation Techniques	材料工学 Materials Engineering	教育改善IR室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center
教 授 Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	池田 光優 IKEDA, Mitsumasa	水・軽油乳化燃料の燃焼特性 Combustion Characteristics in Water-Diesel Fuel Emulsion Fuel ポリエチレンフィルムの融解・燃焼挙動 Melting and Combustion Characteristics of Polyethylen Film	熱工学 Thermal Engineering	校長補佐 (学生主事) Assistant President (Dean of Student Affairs)
教授 Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	張間 貴史 HARIMA, Takashi	複数円形噴流の流れ場の制御に関する研究 Control of the Flowfield Using Multiple Circular Jets	流体工学 Fluid Mechanics	機械電気工学科3年担任 Class Teacher
教授 Professor 博士 (理学) Dr.Sci.	北村 健太郎 KITAMURA, Kentaro	地磁気計測・短波レーダーを用いた宇宙環境計測に関する研究 Space Environment Measurement Using Magnetometer and FMCW Radar	電磁場計測 Electro Magnetism	国際交流室長 Chief of International Exchange Office 副教務主事 Vice-Dean of Academic Affairs
嘱託教授 Professor on a short-term contact 博士 (工学) Dr.Eng.	牧野 俊昭 MAKINO, Toshiaki	乗り物の制振・静音化に関する研究 Reduction of Sound and Vibration for Vehicle's Structure 移動ロボットの運動制御 Motion Control of Mobile Robotics	電子制御工学 Electronic Control Eng. 運動制御 Motion Control	
准教授 Associate Professor	藤本 浩 FUJIMOTO, Hiroshi	定存波を用いたコンクリート柱の異常診断に関する研究 Study of Abnomal Diagnosis Concrete Pillars Using Stationary Waves	電子制御 Electronic Control	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs
准教授 Associate Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	石田 浩一 ISHIDA, Koichi	うず電流変位計・うず電流非破壊検査 Eddy Current Displacement Sensor, Eddy Current Inspection 計算機ホログラムの光学情報処理への応用 Application to Optical Information Processing of Computer-Generated Hologram	応用物理 Applied Physics	機械電気工学科2年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 理学博士 Dr.rer.nat	飛車 来人 Kurt, Fischer	弾性体と流体の数値的なシミュレーション Numerical Simulation of Elastic Materials and Fluids 等角写像とリーマンの関数論 Conformal Maps and the Riemann Mapping Theorem	論理物理 Theoretical Physics	図書館参事 Associate Vice Director of the Library テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	福田 明 FUKUDA, Akira	半導体デバイス研磨に関する研究 Chemical-Mechanical Planarization (CMP) and its Related Technologies	計算力学 Computational Mechanics 精密加工学 Precision Machining	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
准教授 Associate Professor 博士 (理学) Dr.Sci.	三浦 靖一郎 MIURA, Seichiro	科学技術教育のためのe-learning教材開発 Development of E-learning Materials for Science and Engineering Education 磁性体薄膜における磁区構造のパターン形成 Pattern Formation of Magnetic Domain Structure in Magnetic Thin Film	物性物理学 Fundamental Physics コンピュータ工学 Computer Engineering 科学技術教育 Science and Engineering Education	専攻科幹事 (機械制御) Secretary of Advanced Course 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
准教授 Associate Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	鈴木 厚行 SUZUKI, Atsuyuki	強力超音波の応用に関する研究 Study on Applications of High- intensity Ultrasonic Vibration	超音波工学 Ultrasonics	機械電気工学科4年担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor 博士 (工学) Dr.Eng.	池田 将晃 IKEDA, Masaaki	生物模倣型ロボットの開発および運動制御 Development and Motion Control of Biomimetic Robot	ロボット工学、メカトロニクス Robotics Mechatronics	キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Carrer Advisor

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名	Name	担当科目	Subject	勤務先
井上 浩	INOUE, Hiroshi	知的財産権	Intellectual Property	維新国際特許事務所
阿部 忠人	ABE, Tadato	//	//	//

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research



●コンピュータ3D-CAD室

Computer 3D-CAD Room

1. 使用授業科目
基礎設計製図、設計製図、コンピュータ基礎、
プログラミング基礎・応用、創造演習、創造製作
2. 設備概要 Summaries about Equipment
 - (1) 学生用コンピュータ 52台
Computer for Students
OS Windows
 - (2) 管理用サーバー Server Computer
 - (3) 3Dソフト 3D Software
Solid Works 200ライセンス
 - (4) ワンチップマイコン用プログラム書込器 52台
Programmer for PIC

●材料力学研究室

Material-strength Test Laboratory

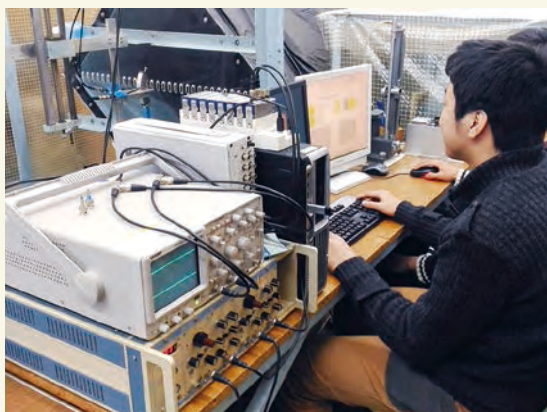
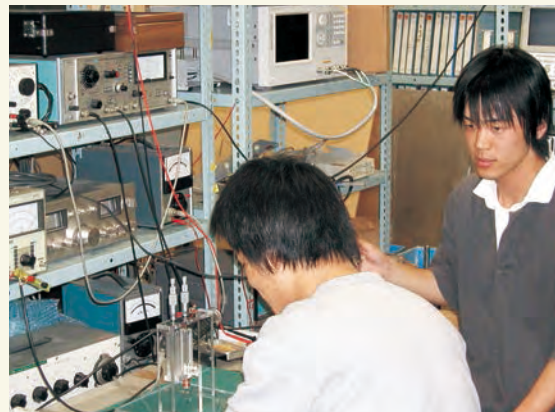
1. 材料試験機 Material testing machine
 - (1) 複合負荷精密材料試験機 島津AG-100kNE
 - (2) サーボバルサー 島津EHF-EV-100kN-20-T
 - (3) 電気油圧式引張圧縮疲労試験機 (±30kN)
 - (4) 小野式回転曲げ疲労試験機 島津 H7型
 - (5) 4連式片持ち回転曲げ疲労試験機 ホーコス
 - (6) 超微小押し込み硬さ試験機 エリオニクス ENT-2100
 - (7) 超微小押し込み硬さ試験機 島津 DUH-211
 - (8) マイクロビッカース硬さ試験機 島津 HMV
2. 顕微鏡 Microscope
 - (1) 走査型電子顕微鏡 日立 S-3400N
 - (2) 各種光学顕微鏡
 - (3) 万能投影機



●電子工学研究室

Electronic Engineering Laboratory

1. 電子部品測定器 LCRメータ
アジレント4284A, 4285A, 4287A, 横河・ヒューレット
パッカード4276A, 4277A
2. ガウスメータ
横河 3251, 電子磁気 GM-1200, Lake Shore 421
3. ロックイン・アンプ NF 5610B, NF LI-574A, NF LI-575
4. シンセサイズド信号発生器 Hewlett Pacard 3325B
5. デジタル・マルチメータ Hewlett Pacard 3458A
6. ネットワークアナライザ agilent 8720ES
7. スペクトルアナライザ agilent E7401A



●流体工学研究室

Fluid Mechanics Laboratory

1. 乱流データ解析処理装置
Equipment for processing and analyzing Turbulent data
 - (1) 定温度型熱線流速計 Constant temperature Hot-Wire Anemometers
KANOMAX社製 8Ch
DANTEC社製 6Ch
 - (2) データ取得装置 Data acquisition system
日本ナショナルインスツルメンツ製 NI9215

情報電子工学科

Department of Computer Science and Electronic Engineering



電子通信システム実験

コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを 設計・構築する技術者の育成

情報電子工学科の教育理念は「基礎力、実践力を備えた信頼されるエンジニアの育成」です。これは技術的な面だけでなく、能力的、人物的な面においても十分な基礎力を備え、将来さまざまな分野でさらに発展できる能力をもった信頼される技術者を育成しようというものです。とりわけ技術的な面での基盤となるカリキュラムは「電子・通信のわかるコンピュータシステム技術者を狙った」構成になっています。その主な内容は、

- (1) コンピュータのハードウェア技術とソフトウェア技術
- (2) 情報処理システムを支える応用ソフトウェア技術とユーザインタフェース技術
- (3) 通信情報システムを支える通信技術とネットワーク技術
- (4) コンピュータ応用機器システムを支える電子技術と計測制御技術

などです。このような技術を基礎から系統的に身につけることにより、『コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術者を育成』します。またこれらの技術をより実践的なものに高めるために、多くの実験実習時間を設けています。更に自分で問題をとらえ、自ら解決していく創造性豊かな技術者の育成をめざして、創造演習や卒業研究の指導にも力を注いでいます。

Our educational philosophy is to cultivate every student as a reliable and creative engineer who has a sufficient foundation in terms of “technology”, “ability” and “humanity”. We offer a curriculum that supports the technological basis for various computer systems. It includes the following:

- (1) Computer hardware and computer software technology
- (2) Application software and man-machine interface technology
- (3) Communication and network technology
- (4) Electronics, sensor and control technology

The students can systematically learn subjects in the technology fields shown above and then put their fundamental knowledge to practice through various experiments, exercises and graduation research. We assure that each student will be a reliable and creative engineer in the future.



電子工学実験



2月 卒業研究の発表

教育課程の特色 Features of Curriculum

情報工学と電子工学とをバランスよく学習する複合学科です。すなわち、コンピュータやこれに関連する技術によって構成される電子装置に必要なソフトウェア・ハードウェア両面の技術を並行して学習でき、先端技術も修得できるように教育課程を構成しています。

The CSEE department's curriculum has been carefully prepared so that classes of computer science are studied in correspondence with classes of electronics. For example, the up-to-date computer software technology class could be studied with that of the hardware.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目 Subjects			単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必修科目 Required Subjects	基礎電気回路	Basic Electric Circuits	2	2				
	基礎コンピュータ工学	Fundamental Computer Engineering	2	2				
	コンピュータの基礎知識	Introduction to Computer Science	1	1				
	基礎プログラミング	Fundamentals of Programming	3	3				
	電子工学実験	Electronic Engineering Experiments	4			4		
	※ コンピュータシステム実験	Computer Engineering Laboratory	4				4	
	※ 創造演習	Creation and Research Practice	1				1	
	※ 創造製作	Creative Production	1					1
	卒業研究	Graduation Research	10					10
	履修単位計	Total Credits Required	28	8		4	5	11
必修科目 Subjects Required to Take	電気数学	Mathematics for Electrical Engineering	1		1			
	集合と論理	Set and Logic	1		1			
	知的財産論	Intellectual Property	1			1		
	情報数学	Mathematics for Computer Science	2			2		
	※ フーリエ・ラプラス変換	Fourier and Laplace Transform	1				1	
	確率	Probability	1			1		
	※ 統計学	Statistics	1					1
	※ 情報理論	Information Theory	2				2	
	※ デジタル信号処理	Digital Signal Processing	1					1
	※ 電磁気学	Electromagnetism	2				2	
	※ 数値解析	Numerical analysis	1					1
	※ 社会情報システム	Social Information Systems	1				1	
	電気回路	Electric Circuits	2		2			
	計測工学	Electronic Instruments and Measurements	2			2		
	アナログ回路	Analog Electronic Circuits	2			2		
	デジタル回路	Digital Circuit	2			2		
	※ 情報通信工学	Communication Network	2				2	
	※ デジタル回路応用	Applications of Digital Circuits	1				1	
	コンピュータ演習	Seminar for computer	1	1				
	コンピュータ工学	Computer Engineering	2		2			
	プログラミング	Programming	2		2			
	プログラミング言語	Programming Language	1		1			
	コンピュータシステム概論	Introduction to Computer System	1			1		
	アルゴリズムとデータ構造	Algorithms and Data Structures	2			2		
	システムプログラミングⅠ	System Programming I	1			1		
	※ システムプログラミングⅡ	System Programming II	1				1	
	※ コンピュータアーキテクチャ	Computer Architecture	2				2	
	※ ソフトウェア工学	Software Engineering	2				2	
	※ データベース	Database	2				2	
	※ オペレーティングシステムⅠ	Operating System I	1				1	
	※ オペレーティングシステムⅡ	Operating System II	1					1
	※ ネットワークアーキテクチャ	Network Architecture	2					2
	工学セミナー	Seminar in Computer Science & Electronic Engineering	1				1	
	※ 英語講読	Reading on Technical English	2					2
	特別講義	Guest Lecture	1					1
	履修単位計	Total Credits Required	51	1	9	14	18	9
選択必修科目 Required Subjects (Elective)	※ 電子通信システム実験	Electronics and Communication Engineering Laboratory	2					2
	※ 情報システム実験	Software Engineering Laboratory	2					2
	開設単位計	Offered	4					4
	履修単位計	Total Credits Required	2					2
選択科目 Elective Subjects	※ 集積回路設計	Integrated Circuits Design	2					2
	※ 画像工学	Image Processing Engineering	2					2
	※ 言語処理	Formal Languages Processing	2					2
	※ オブジェクト指向プログラミング	Object-Oriented Programming	1					1
	※ コンピュータグラフィックス	Computer Graphics	2					2
	※ 知的情報処理	Intelligent Information Processing	2					2
	※ システム数理工学	System Mathematical Engineering	2					2
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1	
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2	
	開設単位計	Offered	16				3	13
	履修単位計	Total Credits Required	5					5
履修単位合計			86	9	9	18	23	27
一般科目履修単位合計			82	25	25	16	13	3
専門科目履修単位合計			86	9	9	18	23	27
合計			168	34	34	34	36	30

注① 5年生は電子通信システム実験または情報システム実験のいずれかを選択する

② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

教 員 Teaching Staff

職 名 Title	氏 名 Name	研 究 テ ー マ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校 務 School Affairs
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	百田 正広 MOMOTA, Masahiro	動画像処理による粒子像解析に関する研究 Image Processing	画像工学 Image Engineering	教育研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research 総合企画室長主務 Planning and Coordination Officer
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	山田 健仁 YAMADA, Takehito	デジタル制御に関する研究 Digital Control System	制御工学 Control Engineering	校長補佐(研究・産業連携担当) Assistant President on Research and Industry-Academia Collaboration テクノ・リフレッシュ教育センター長 Director of Center for Collaborative Research and Education 研究推進室長 Director of Reserchpromotion Division
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	義永 常宏 YOSHINAGA, Tsunehiro	オートマトン理論 Automata Theory	情報工学 Information Engineering	学科主任 Chief of the Department
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	奥本 幸 OKUMOTO, Miyuki	画像認識に関する研究 Image Recognition	情報工学 Information Engineering	情報電子工学科3年担任 Class Teacher
教授 Professor 博士(情報科学) Ph.D.	高山 泰博 TAKAYAMA, Yasuhiro	自然言語処理・文書処理に関する研究 Natural Language Processing and Document Processing	言語情報学 Language Informatics	専攻科幹事(情報電子) Secretary of Advanced Course 図書館長補 Assistant Director of the Library テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice irector of Center for Collaborative Research and Education
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	重村 哲至 SHIGEMURA, Tetsuji	計算機アーキテクチャ Computer Architecture	計算機工学 Computer Engineering	校長補佐(専攻科長) Assistant President (Chief of the Advanced Course)
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	原田 徳彦 HARADA, Norihiko	F D - T D法による電磁界解析 Finite Difference Time Domain Method in Electromagnetics	応用物理 Applied Physics	学生相談室長 Chief Counselor
教 授 Professor 博士(理学) Ph.D.	浦上 美佐子 URAKAMI, Misako	分散情報システム応用・管理 Distributed Information systems	情報工学 Computer Science	テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice irector of Center for Collaborative Research and Education 教育改善 I R 室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
准教授 Associate Professor	小林 明伸 KOBAYASHI, Akinobu	楽器演奏時における楽譜情報処理に関する研究 Music Information Processing	情報工学 Infomation Engineering	キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Career Advisor
准教授 Associate Professor	杉村 敦彦 SUGIMURA, Atsuhiko	画像処理(2次元巡回型フィルタ) Signal Processing	デジタル信号処理 Digital Signal Processing	情報電子工学科4年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	新田 貴之 NITTA, Takayuki	教育支援システムに関する研究 Computer Assisted Instruction	計算機工学 Computer Engineering	情報処理センター長 Director of Information Processing Center
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	柳澤 秀明 YANAGISAWA, Hideaki	プロセッサの設計自動化、ハードウェア設計、Webベース共同開発環境 Design Automation for Developing Processors, Hardware Design, Web-based Collaborative Development Environment	情報工学 Information Engineering	情報電子工学科5年担任 Class Teacher 国際交流室員 International Exchange Officer
准教授 Associate Professor 博士(工学) Ph.D.	古賀 崇了 KOGA, Takanori	ソフトコンピューティング技術の応用に関する研究 Applications of Soft-Computing Techniques	ソフトコンピューティング Soft-Computing	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	室谷 英彰 MUROTANI, Hideaki	半導体光物性評価に関する研究 Semiconductor Optics	半導体工学 Semiconductor Engineering	情報電子工学科2年担任 Class Teacher
助 教 Assistant Professor	力 規晃 CHIKARA, Noriaki	帰納学習および充足可能性判定に関する研究 Inference System	情報工学 Information Engineering	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
助 教 Assistant Professor 博士(工学) Ph.D.	宮崎 亮一 MIYAZAKI, Ryoichi	音響信号処理 Acoustic Signal Processing	情報工学 Information Engineering	寮務主事補 Vice-Dean of Domitory Affairs

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research

(1) ソフト系設備 Computer System

学科の学生が自由に利用できるネットワークに接続された最新のパソコン（PC）が50台設置されています。主に高学年の授業や実験に使うためのもので、これらに合わせたシステム構成になっています。学生一人あたりの使用可能なディスク容量が大きく、色々な機能が自由に使えるようになっています。また、1台のPCでMac OS, Windowsを同時に使用することができます。

CSEE students have access to 50 workstations connected to a network. Both operating systems, Mac OS and Windows, are utilized and each computer is connected to the Internet.

サーバコンピュータ群



HITACHI HA8000
(仮想デスクトップ基盤) ×3
Apple Mac mini Server
(Mac 用サーバ) ×1
HP ProLiant (UNIX) ×1
HP ProLiant (Windows) ×1
HP Z620 (UNIX) ×6

学生用PC (50台)



本体: Apple Mac mini
ディスプレイ:
23 インチ+19 インチ
大型インクジェットプリンタ



Epson PX-F8000



Mac OS X

携帯端末 (iOS) プログラム開発
C 言語, Java 言語, Perl 言語等プログラム開発
組込み系 (H8, ARM, TeC) プログラム開発
数値計算 / シミュレーション (MATLAB/Simulink)
文書清書システム (TeX)
MS Office 2011

Windows 7

FPGA 開発 (Xilinx ISE)
回路シミュレータ (Multisim)

(2) ハード系設備 Facilities for System Development

☆ モデリングマシン CAMM-3
Modeling machine CAMM-3.



☆ 電子工学実験計測器
Measurement equipments for electronic engineering experiments.



☆ 電子通信システム実験計測器
Measurement equipments for electronics and communication system laboratory.



☆ 教育用コンピュータのクロス開発環境
Cross development environment for an educational computer.



☆ 情報電子工学実験室
Electronic engineering laboratory.



☆ パソコンの組立て
Assembling of a PC.



土木建築工学科

Department of Civil Engineering and Architecture

本四架橋や超高層ビルなどの建設においては高度の建設技術が用いられています。土木建築工学科の教育目標は、「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術者の育成」です。また、複合学科として土木技術や建築技術の基礎理論を理解するとともに、実験や実習によって実務にすぐに役立つ技術が修得できる授業編成になっています。

教育内容の特色としては、最近の建設技術の進歩に応ずるようにコンピュータ演習の運用には低学年から十分時間をかけて、コンピュータに慣れると同時に実際の現場に活用できるように考慮されています。

また、学外での泊まり込みの集中測量実習を行うなど実験実習や設計製図には多くの時間を充て、実践的技術者の育成に努力を払っています。必修として設けてある科目の中でも力学関係の時間をできるだけ増し、演習の時間を多く取って基礎学力の育成に努めています。

卒業後は建設会社や設計事務所はもちろん、国土交通省・県庁・市役所や独立行政法人など広い分野で活躍できます。また、卒業すれば測量士・測量士補となる資格、在学中の選択科目の状況により建築士受験資格（一級、二級）、火薬類取扱保全責任者の試験科目の免除（一般火薬学）などの特典があります。

Throughout Japan, we are in the midst of a great undertaking to improve the nation's infrastructure. Large-scale bridges, expressways, high buildings, wide-spaced structures and offshore airports have been constructed with the use of modern technology. The educational goal of the Department of Civil Engineering and Architecture is to get the students to be able to make full use of "information technologies to design and develop infrastructure and architectural space". The department provides the students with experimental facilities and an educational curriculum designed to prepare the students for the modern civil engineering and architecture workplace. Students are taught the fundamental principles and modern technology of civil engineering and architecture. In order to gain a firm grasp of the theories, principles and methods, the students perform various kinds of experiments and draw many types of drafts throughout the five-year course. The students also learn about computer programming and applications for civil engineering and architecture. In addition, the students are taught other subjects that are becoming increasingly important, such as environmental protection and construction technology.



まちなかの学生設計発表会（5年生の創造演習）



3年生の測量実習



全国高専デザインコンペティション本選



2年生の工学デザイン基礎Ⅱ

教育課程の特色 Features of Curriculum

4年及び5年生には選択科目を設けて、学生の能力と志向によって自主的な勉学と創造力の育成に役立つ配慮がなされています。

After the students have learned the basic subjects in civil engineering and architecture for the first three years, students must then select either the Civil Engineering program or the Architecture program. Thus, the students in fourth and fifth year select subjects of their interest from many electives offered, in the specific areas of civil engineering or architecture.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目 Subjects			単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	測量実習	Surveying Practice	4		2	2			
	工学デザイン基礎Ⅰ	Fundamental Technical Design I	2	2					
	工学デザイン基礎Ⅱ	Fundamental Technical Design II	2		2				
	工学デザイン基礎Ⅲ	Fundamental Technical Design III	2			2			
	基礎工学実験	Basic Technical Experiment	2			2			
	力と変形	Force and Deformation	1	1					
	構造力学基礎	Fundamental Structual Mechanics	4		1	3			
	技術者倫理	Engineering Ethics	1				1		
	※ 工学デザインⅠ	Engineering Design I	2				2		
	※ 工学デザインⅡ	Engineering Design II	2				2		
	※ 創造演習	Creative Practice for Structure Design	2				1	1	
	※ 工学実験Ⅰ	Experiments I	1			1			
	※ 工学実験Ⅱ	Experiments II	1				1		
	卒業研究	Graduation Research	8					8	
履修単位計			34	3	5	9	4	13	
必修履修科目 Subjects Required to Take	※ 構造力学	Structural Mechanics	2				2		
	※ 建築一般構造	Architectual Structure	1			1			
	※ 鉄筋コンクリート工学	Reinforced Concrete	2				2		
	※ プレストレストコンクリート工学	Pre-stressed Concrete	1					1	
	※ 鋼構造Ⅰ	Steel Structure I	1				1		
	※ 鋼構造Ⅱ	Steel Structure II	1					1	
	※ 建築構造設計	Structural Design	2					2	
	※ 地盤工学基礎	Basic Soil Mechanics	2			2			
	※ 地盤工学	Geotechnical Engineering	2				2		
	※ 基礎構造学	Foundation Engineering	1					1	
	※ 道路工学Ⅰ	Highway Engineering I	1				1		
	※ 水理学基礎	Fundamental Hydraulics	2			2			
	※ 水理学	Hydraulics	2				2		
	※ 環境衛生工学	Sanitary and Environmental Engineering	1				1		
	※ 建設材料	Construction Materials	1	1					
	※ 建設先端材料	Advanced Construction Materials	1					1	
	※ 西洋建築史	History of Western Architecture	1		1				
	※ 建築デザイン概論	Outline of Architectural Design	1	1					
	※ 建築計画	Architectural Planning	2			2			
	※ 都市計画	City Planning	2				2		
	※ 建築環境工学	Building Environmental Engineering	1				1		
	※ 建設マネジメント	Construction Management	1					1	
	※ 情報処理	Computer Applications	5	2	1	2			
	※ C A D基礎	Fundamental CAD	1			1			
	※ C A D応用	Applied CAD	1			1			
	※ 確率・統計	Probability and Statistics	1				1		
	※ 測量Ⅰ	Surveying I	2	2					
	※ 測量Ⅱ	Surveying II	2		2				
	※ 測量Ⅲ	Surveying III	1				1		
	※ 測量学特論	Special Lecture on Surveying	1					1	
履修単位計			45	6	4	11	16	8	
選択科目 Elective Subjects	※ 道路工学Ⅱ	Highway Engineering II	1	1				1	
	※ 鋼構造Ⅲ	Steel Structure III	1					1	
	※ 振動工学	Dynamics of Structure	1					1	
	※ 応用プログラミング	Applied Programming for Civil Engineering	1					1	
	※ 河海工学Ⅰ	River and Coastal Engineering I	1				1		
	※ 河海工学Ⅱ	River and Coastal Engineering II	1					1	
	※ 火薬学	Explosives	1					1	
	※ 建築材料	Building Materials	1				1		
	※ 日本建築史	History of Japanese Architecture	1					1	
	※ 近代建築史	History of Modern Architecture	1					1	
	※ 建築環境工学演習	Seminar in Architectural Environmental Engineering	1				1		
	※ 建築設備	Building Equipment	2					2	
	※ 土木法規	Administrative Law of Civil Engineering	1					1	
	※ 建築法規	Administrative Law of Civil Architecture	1					1	
	※ 土木施工法	Execution of Construction Work	1					1	
	※ 建築施工法	Architectual Execution Method	1				1		
	※ 特別講義	Guest Lecture	1					1	
	※ 工学セミナー	Engineering Seminar in Civil Engineering and Architecture	1				1		
	※ 校外実習Ⅰ	Internship I	1				1		
	※ 校外実習Ⅱ	Internship II	2				2		
	※ 開設単位計	Offered	22				8	14	
	履修単位計			7				2	5
	履 修 単 位 合 計			86	9	9	20	22	26
	一般科目履修単位合計			82	25	25	16	12	4
専門科目履修単位合計			86	9	9	20	22	26	
合 計			168	34	34	36	34	30	

注 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

教 員 Teaching Staff

職 名 Title	氏 名 Name	研 究 テ ー マ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校 務 School Affairs
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng. 技術士(建設) PE APEC	原 隆 HARA, Takashi	構造物の動的耐荷力解析 Dynamic Load Carrying Capacity of Structures 鉄筋コンクリート構造の有限要素解析 Finite Element Analysis of Reinforced Concrete Structures	構造力学 Structural Mechanics 計算力学 Computational Mechanics	土木建築工学科5年担任 Class Teacher
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	上 俊二 UE, Syunji	各種固化材を用いた地盤改良に関する研究 Study on Soil Improvement That Uses Various Solidification Materials 降雨時の斜面保護工法に関する研究 Study on Slope Protection Method at Rainfall	地盤工学 Geotechnical Engineering	土木建築工学科3年担任 Class Teacher 図書館参事 Associate Vice Director of the Library
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	佐賀 孝徳 SAGA, Takanori	開水路乱流の組織構造に関する研究 Investigation regarding turbulent structure in open channel flow 物体周辺の流れ構造と流速変動特性 Turbulent structure and instantaneous velocity field near the bluff body	水工学 Hydraulic Engineering	学科主任 Chief of the Department
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	橋本 堅一 HASHIMOTO, Ken-ichi	圧縮化の材料内の欠陥に起因する破壊に関する研究 Study on fracture due to faults in materials under compressive loading マグネシウムコンクリートの利用に関する検討 Consideration on application of magnesium concrete	応用力学 Applied Mechanics	校長補佐(寮務主事) Assistant President (Dean of Dormitory Affairs)
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	古田 健一 FURUTA, Ken-ichi	公的賃貸住宅利用システムに関する研究 A Study on the Utilization System of Public Housing 大都市圏における持家需要特性に関する研究 A Study on the Characteristics of Housing Demand in Major Metropolitan Areas	建築計画 Architectural Planning	副校長(教務主事) Vice President (Dean of Academic Affairs)
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng. 技術士(建設)	田村 隆弘 TAMURA, Takahiro	軸力と曲げを受ける鉄筋コンクリート部材のせん断耐力 Shear Strength of Reinforced Concrete Member Subjected to Axial Force and Bending ひび割れを有する鉄筋コンクリート部材のせん断耐力 Shear Strength of Pre-cracked Reinforced Concrete Member	鉄筋コンクリート 構造工学 Reinforced Concrete Structural Engineering	
教 授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	渡辺 勝利 WATANABE, Katsutoshi	河川護岸の防災機能に関する研究 Study on disaster prevention function of river bank protection 開水路流れの乱流特性の解明と制御に関する研究 Clarification and control of turbulent structure in open channel flows	水工学 Hydraulic Engineering	土木建築工学科2年担任 Class Teacher 総合企画室主務 Planning and Coordination Officer
准教授 Associate Professor 技術士(建設)	目山 直樹 MEYAMA, Naoki	地方都市の企業立地と市街地形成との関係性 Study on Relation between Industrial Location and Urban Development in Local Cities 防災教育を通じた防災まちづくり Study about Community Design through Education of Disaster Prevention	都市計画・建築 計画 City Planning, Architectural Planning	専攻科幹事(環境建設) Secretary of Advanced Course テクノ・リフレッシュ教育 センター副センター長 Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr. Eng.	桑嶋 啓治 KUWAJIMA, Keiji	破砕性の卓越した土の力学特性 Mechanical Characteristics of Crushable Soils 破砕性地盤における杭の支持力 Pile Bearing Capacity of Pile in Crushable Soils	地盤工学 Geotechnical Engineering	副学生主事 Vice-Dean of Student Affairs 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center 教育改善 I R 室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	中川 明子 NAKAGAWA, Akiko	古代ギリシア建築の施工技術に関する研究 A Study on Construction Techniques in Ancient Greek Architecture 歴史的建造物の保存修復活用に関する研究 A Study on Preservation, Restoration and Use of Historical Architecture	建築史 History of Architecture 歴史的建造物の保存活用 Preservation, Restoration and Use of Historical Architecture	キャリア教育支援室長 Chief of Career Support Center テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice inrector of Center for Collaborative Resarch and Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	島袋 淳 SHIMABUKURO, Atsushi	環境・景観を考慮したコンクリートに関する研究 Study on the concrete for environment and landscape 砂地盤以外の液状化現象に関する研究 Study on liquefaction of non-plastic silt	土木材料学 Construction Material	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affiars 国際交流室員 International Exchange Officer
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	平栗 靖浩 HIRAGURI, Yasuhiro	屋外音響伝搬に関する研究 Study on Outdoor Sound Propagation 音による空間知覚に関する研究 Study on Spatial Perception Using Sound	建築環境工学 Building Environmental Engineering	
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr. Eng.	海田 辰将 KAITA, Tatsumasa	鋼橋の耐荷力評価と維持管理に関する研究 Remaining strength estimation and maintenance of existing steel bridges 腐食した鋼部材の残存耐荷力に関する実験・解析 Loading test and finite element analysis for corroded steel members	鋼構造学 Steel Structure	土木建築工学科4年担任 Class Teacher
助教 assistant professor 技術士(建設)	温品 達也 NUKUSHINA, Tatsuya	コンクリートの表層品質向上と評価に関する研究 Improvement and evaluation about surface layer properties of concrete	コンクリート工学 Concrete Technology	寮務主事補 Vice-Dean of Domitory Affairs
助 教 Assistant Professor 博士(工学) Dr. Eng.	劉 懋 LIU, Mao	座屈補剛された鋼構造部材の弾性座屈荷重に関する研究 Study on elastic buckling strength of steel members with bracing	鋼構造学 Steel Structure	キャリア教育支援室キャリア アドバイザー Career Advisor 学生相談室相談員 Counselor

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏 名 Name	担当科目 Subject	勤 務 先
井上 篤雄 INOUE, Atsuo	火薬学 Explosives	
坂本 修 他 SAKAMOTO, Osamu	建設マネジメント Construction Management	洋林建設(株) 他
河村 志朗 他 KAWAMURA, Shiro	技術者倫理 Engineering Ethics	(株) ソイル・ブレーン 他
石丸 和広 ISHIMARU, Kazuhiro	創造演習 Creative Practice	有限会社TIME
洞崎 伸治 HORAZAKI, Shinji	工学デザイン I Engineering Design I	洞崎 I 級建築士事務所

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research



構造研究室

サーボアクチュエータ式負荷制御装置

鉛直方向に $\pm 200\text{kN}$ 2本、水平方向に $\pm 300\text{kN}$ の各サーボアクチュエータとその制御盤及び反力壁、反力ベースなどから構成されており、油圧源を使って静的及び動的（疲労）負荷試験を行う装置です。制御盤からさまざまな信号を入力でき、2軸方向への繰返し載荷試験や、地震波を想定した実験もできます。

Structural Engineering Laboratory

Multipurpose Servo Actuator Dynamic Testing Apparatus

The testing apparatus is composed of two vertical servo actuators of 200kN capacity, a horizontal servo actuator of 300kN capacity, a reaction wall and a base.

Activating the actuators under the electronic servo controlling system, various kind of static and dynamic loading tests can be performed.

Any applied load is generated by artificial signals or by actual earthquake records.

This apparatus enables us to simulate the characteristics of structures subjected to cyclic loading and earthquake loading.

地盤工学研究室

多目的高圧三軸試験機

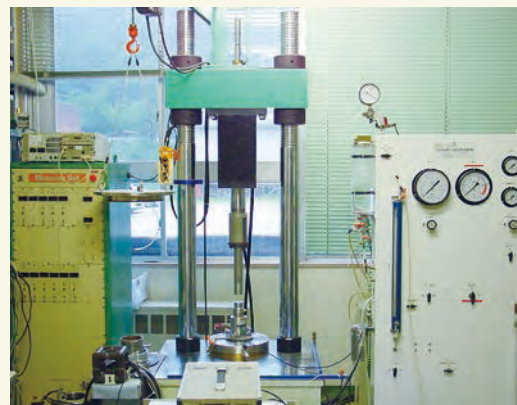
地盤を構成する粘土や砂や岩石などの圧密せん断特性を調べるために用いられる多目的高圧三軸試験機です。この試験機は、鉛直方向に最大 500kN 、拘束圧は最大 20MPa 負荷することが可能です。パソコンからの制御により、様々な載荷条件が設定でき、構造物を支持するときの静的な荷重、地震や交通荷重の動的な荷重など様々な荷重が地盤に作用したときの土の変形・強度特性を調べることが出来ます。

Geotechnical Engineering Laboratory

Multi Triaxial Apparatus

This apparatus is used for research on characteristics of consolidation and shear strength of foundation materials, such as clay, sand, rock, etc.

The maximum load capabilities of this apparatus are 500kN for the vertical axis and 20MPa for the horizontal axis. Using a personal computer, various load conditions are setup, and soil mechanical properties can be investigated under various loads (static loads, such as bearing capacity when supporting a structure, and dynamic loads, such as earthquake, traffic load, etc.).



材料研究室

油圧サーボ式強度試験機（2台）、万能試験機、圧縮曲げ試験機

主に、岩石、木材、コンクリートおよび鉄筋コンクリート部材の変形や破壊挙動を調べるための材料試験機です。油圧サーボ強度試験機は試験力が静的 450kN 、動的 300kN のものと静的 12kN 、動的 10kN の2台を有しており、万能試験機と圧縮曲げ試験機の試験力はそれぞれ、 2000kN と 1000kN です。

Material Engineering Laboratory

Servohydraulic Testing System, Universal Testing System, Compressive and Bending Testing System

These systems consist of material testing apparatuses which are used to study the fracture behavior of concrete, rock, wood and reinforced concrete.

There are two servohydraulic testing apparatuses; one has the maximum loading capacity, 300kN for the dynamic loading and 450kN for the static loading, and the other has the maximum loading capacity, 10kN for the dynamic loading and 12kN for the static loading.

The maximum loading capacity for universal testing machine and compressive and bending testing machine are 2000kN and 1000kN respectively.

水理研究室

レーザー光膜法による開水路乱流の横断面可視化

強力なアルゴンレーザー光線を開水路乱流の横断面に挿入し、壁近くに形成された渦の断面を可視化したものです。壁近くは、乱れのエネルギーの発生が最大となり、長い間その原因が不明でしたが、この渦がその正体であることが最近明らかになりました。

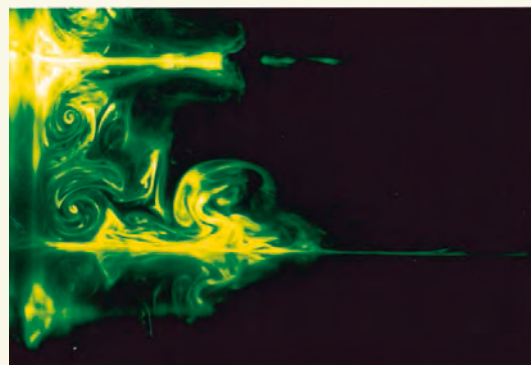
Hydraulics Laboratory

Streamwise view of a vertical structure near wall turbulence of open-channel flow by laser light sheet method.

This picture shows the streamwise view of a vertical structure near wall turbulence. In this flow visualization, a sheet of laser light transformed from 2W Argon ion laser beam was used.

It is known that turbulence production is at maximum value near the wall.

But the cause is not known. Recently, it is clear that this vortical structure plays an important role in the mechanism of turbulence.



一般科目

Liberal Arts Division

一般科目は、広い視野を持った優れた技術者を育成するために、豊かな教養を身につけることと、工学のそれぞれの分野の専門知識や技術を修得するために必要な学問的基礎を学ぶことを目的として設けられています。さらに、21世紀を生きぬく人間のための教養教育としての視点から、「個性豊かな文化を創造し、進んで国際社会の発展に貢献できる、主体性のある調和のとれた教養豊かな人間の育成」を総括目標とする教養課程を編成しています。

一般科目の履修単位数は、卒業に必要な総履修単位数のおよそ49%ですが、1年から3年までに、基礎教養科目を中心にその80%を履修し、さらに4年・5年では、専門性の高い教養科目を学ぶことになっています。

なお、昭和62年度（1987年度）から、1年生については、専門の授業科目を除き、学科の壁を取り除いた混合学級編成を行っています。また外国語教育では、外国人教師による指導や、会話における少人数クラス編成の授業も行われています。

The purpose of Liberal Arts courses is to provide engineer students with breath of knowledge. To achieve this aim, we offer students basic knowledge of humanities and academic subjects in order for them to pursue technology and skill in each field. In view of liberal arts education for the 21st Century, we set the following as our main goal to cultivate an engineer student with originality, independent spirit and the ability to contribute to the world.

The Liberal Arts courses account for 49% of all the credits required for graduation. In the first to third year, students are required to take 80% of basic level courses and in the fourth and fifth year, high-level courses.

Since 1987, a system of mixing different major students in a class for the first year has been adopted for diversity. Split classes and some English classes taught by native speakers have also been adopted.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目			Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必修科目 Required Subjects		国語総合Ⅰ	Japanese I	4	4				
		国語総合Ⅱ	Japanese II	4		2	2		
		歴史	History	4	2	2			
		倫理	Ethics	2		2			
		政治・経済	Politics and Economics	2	2				
		哲学	Philosophy	2			2		
		数学ⅠA	Mathematics I A	3	3				
		数学ⅠB	Mathematics I B	3	3				
		数学ⅡA	Mathematics II A	3		3			
		数学ⅡB	Mathematics II B	3		3			
		数学ⅢA	Mathematics III A	2			2		
		数学ⅢB	Mathematics III B	2			2		
	※	微分積分学Ⅰ	Differential and Integral Calculus I	1				1	
	※	微分積分学Ⅱ	Differential and Integral Calculus II	1				1	
	※	ベクトル解析	Vector Analysis	1				1	(ME, IE)
	※	線形代数	Linear Algebra	1					1 (CA)
		生物基礎	Basis of Biology	2	2				
		物理基礎	Basic Physics	1	1				
		物理Ⅰ	Physics I	2		2			
		物理Ⅱ	Physics II	2			2		
	※	力学	Dynamics	1				1	(ME, IE)
	※	一般物理	General Physics	1				1	(CA)
		化学基礎	Basic Chemistry	2	2				
		化学Ⅰ	Chemistry I	1		1			
		化学Ⅱ	Chemistry II	1		1			
		体育	Physical Education	8	2	2	2	2	
		保健	Health Education	1	1				
		芸術	Art	2		2			
		基礎英語	Basic English	3	3				
		総合英語Ⅰ	Comprehensive English I	4		4			
		総合英語Ⅱ	Comprehensive English II	3			3		
	※	総合英語演習Ⅰ	Comprehensive English Exercises I	2				2	
	※	総合英語演習Ⅱ	Advanced English II	1					1
	※	英会話	English Conversation	3		1	1	1	
	履修単位計	Credits Required	76	25	25	16	9 8	1 2 (ME, IE) (CA)	
選択科目 Elective Subjects	人文 社会	※ 日本語コミュニケーション	Communication in Japanese	1				1	
		※ 世界経済	World Economy	1				1	
		※ 中国文学	Chinese Literature	1				1	
		※ 歴史学	History	1					1
		※ 言語学概論	Introduction to Linguistics	1					1
		※ 心理学	Psychology	1					1
		※ 人文社会特講	Special Lectures on the Humanities and the Social Sciences	2				1	1
		※ ドイツ語	German	3				2	1
		※ 英語特別演習	English Seminar	1					1
		※ 中国語	Chinese	3				2	1
	外国語	※ 生物学	Biology	1				1	
		※ 物理化学	Physical Chemistry	1				1	
		※ 環境科学	Environmental Science	1				1	
		※ 健康科学	Health Science	1				1	
		※ 自然科学特講	Lectures on the Natural Sciences	1				1	
		※ 応用解析学概論	Introduction to Applied Analysis	3				3	
		※ 応用数物演習	Seminar for Applied Mathematics and Physics	1					1
		開設単位計	Credits Offered	24				16	8
		履修単位計	Credits Required	5				3	2
履修単位合計	Total Credits Required	82	25	25	16	13 12	3 4 (ME, IE) (CA)		
特別活動			3	1	1	1			



注① 4学年では人文・社会領域から2科目または外国語領域から1科目選択し、自然科学領域から1科目選択する。ただし、応用解析学概論は通年3単位、他科目は半期1単位で開講する。

注② 5学年では人文・社会領域から2科目または、人文・社会領域、外国語領域からそれぞれ1科目選択する。ただし、ドイツ語及び中国語は4学年で履修した科目を継続する場合に限り選択することができる。

ME：機械電気工学科
IE：情報電子工学科
CA：土木建築工学科

教 員 Teaching Staff

職 名 Title	氏 名 Name	研 究 テ ー マ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校 務 School Affairs
教 授 Professor 博士(教育学) Ph.D.	吉留 文男 YOSHIDOME, Fumio	談話分析の観点からの説明的文章の読解指導 Instruction on the Reading of Expository Texts from Discourse Analysis Point of View	英語教育 English Language Teaching	学科主任 Chief of the Department
教 授 Professor	長戸 喜隆 NAGATO, Yoshitaka	ヘミングウェイの小説の文体論 Stylistic Analysis of Ernest Hemingway's Stories	英語文体論 English Stylistics 英語教育法 English Language Pedagogy	テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
教 授 Professor 理学博士 Dr. Sc	大橋 正夫 OHASHI, Masao	二次電池正極活物質の合成と特性 Preparation and Properties of Cathode Materials of Batteries	固体化学 Solid State Chemistry	1年1組担任 Class Teacher
教 授 Professor 博士(学術) Ph. D	天内 和人 AMANAI, Kazuhito	生物の発生に関わるシグナル伝達系の機能解析 Analysis of Inductive Signals during the Development of Multicellular Organisms	発生情報遺伝学 Developmental Genetics	校長補佐(総合企画室長) Assistant President (Chief Planning and Coordination Officer) 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
教 授 Professor 博士(文学) Ph.D	一色 誠子 ISSHIKI, Seiko	室生犀星作品研究 A Study of Saisei Muroo	日本近代文学 Japanese Recent Literature	専攻科幹事(一般科目) Secretary of Advanced Course 総合企画室主務 Planning and Coordination Officer
教 授 Professor	柏倉 知秀 KASIWAKURA, Tomohide	ハンザ商業史 Commercial History of Hansa	西洋中世史 Medieval History of Europe 西洋経済史 Economic History of Europe	図書館長 Director of the Library
准教授 Associate Professor	谷本 圭司 TANIMOTO, Keiji	周南地域の漢詩文の研究 A Study of the Chinese style literature in Shunan area	中国文学 Chinese Literature	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs
准教授 Associate Professor 博士(数学) Dr. Math	米田 郁生 YONEDA, Ikuo	幾何的モデル理論 Geometric Model Theory	数学 Mathematics	図書館参事 Associate Vice Director of the Library
准教授 Associate Professor 博士(学術) Ph. D	笠置 映寛 KASAGI, Teruhiro	物理教育用実験教材の開発 Development of Teaching Materials in Physics Education 磁性複合材料の高周波電磁気特性に関する研究 High frequency Electromagnetic Properties of Magnetic Composite Materials	科学教育 Science Education 固体物理学 Solid State Physics	1年2組担任 Class Teacher キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Carrer Advisor
准教授 Associate Professor 博士(学術) Ph. D	高橋 愛 TAKAHASHI, Ai	アメリカ文学における男性性の表象 Representation of Masculinity in American Literature	アメリカ文学 American Literature	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs 国際交流室員 International Exchange Officer
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc	浅野 真誠 ASANO, Masanari	量子情報理論 Quantum information theory 意思決定理論 Theory of decision-making	数理物理学 Mathematical Physics	学生相談室相談員 Counselor
准教授 Associate Professor 博士(文学) Ph. D	高橋 祥吾 TAKAHASHI, Shogo	アリストテレス哲学の研究 A Study of Aristotle's Philosophy	哲学 Philosophy	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc	山本 拓生 YAMAMOTO, Takuo	光子の波動関数 Wave Function of a Photon 実在論の観点からの量子論 Ontological Interpretation of Quantum Mechanics	数理物理学 Mathematical Physics	1年3組担任 Class Teacher
嘱託講師 Lecturer on a Short-term contact	長廣 恭子 NAGAIHIRO, Kyoko	数学教育における物理的概念の導入 The Introduction of Ideas of Physics into Mathematics Education 高専における数学教育の分析 The Analysis of Mathematics Education at Colleges of Technology	数学、物理 Mathematics Physics	
助 教 Assistant Professor	宇野 直士 UNO, Tadashi	身体運動のバイオメカニクス Biomechanics of Human Movement	バイオメカニクス Biomechanics	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏 名 Name	担当科目 Subject	勤 務 先
白井 文子 SHIRAI, Ayako	英語 English	徳山大学 Tokuyama University
田中 数恵 TANAKA, Kazue	英語 English	
新枝 美帆 ATARASHI, Miho	英語 English	
ダーシー・ドゥワイヤー DWYER, Darcy	英語 English	
ベリー・チェインバース CHAMBERS, Perry	英語 English	
徳永 彩理 TOKUNAGA, Sairi	中国語 Chinese	
好村 友江 YOSHIMURA, Tomoe	国語、日本事情 Japanese & Things Japanese	
原田 幸雄 HARADA, Yukio	数学 Mathematics	
唐松 良生 KARAMATSU, Yoshio	数学 Mathematics	
和田 善成 WADA, Yoshinari	歴史 History	
小川 礼子 OGAWA, Reiko	政治経済 Politics and Economics	(株) 吉香窯
山田 哲生 YAMADA, Tetsuo	工芸 Industrial Arts	
佐古 淳子 SAKO, Junko	美術 Fine Arts	
坂本 和美 SAKAMOTO, Kazumi	書道 Art of Calligraphy	
古川 昭夫 FURUKAWA, Akio	音楽 Music	
荒谷 容子 ARATANI, Youko	心理学 Psychology	
和田 實 WADA, Minoru	体育 Physical Education	
田中 富美子 TANAKA, Fumiko	体育 Physical Education	
平畑 幸作 HIRAHATA, Kosaku	体育 Physical Education	
林 由美 HAYASHI, Yumi	日本語 Japanese Language	

専攻科 Advanced Courses

専攻科とはなにか What is an Advanced Course ?

専攻科は高専5年間の課程卒業者を主たる対象者として、さらに深く教育研究が行えるように設けられた2年制の課程です。徳山高専には平成7年度に、全国で10番目に設置されました。

専攻科では日本技術者教育認定機構（JABEE）の「設計情報工学」プログラムの修了認定を受けることができます。また、一定の要件を満たせば、大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位を得ることができます。したがって、専攻科を修了すれば、応用理学部門の技術士補の資格が与えられ、技術士および国際的技術者への道が大きく広がります。また、大学の学部卒業者と全く同じ資格になり、大学院への進学も可能となります。大学院では、学部卒業者とひと味違った活躍が期待されます。これまでの専攻科修了生の大学院での評価は高く、推薦入学を実施する大学院が急激に増加しています。

入学料は84,600円、年間授業料は234,600円です。これは高専本科と同じ金額であり、国立大学のおよそ4割です。したがって、本科から大学3年次へ編入するコースと比べると、経済的負担がずいぶん軽くなっています。

The advanced course is a two-year educational system that enables students who have graduated from the national institute of technology to pursue opportunities for advanced education and research. At present, 59 Colleges of Technology have the advanced course system. Tokuyama College of Technology added the advanced course system in 1995.

The students can obtain the JABEE certificate in Communication and IT-based Design Engineering and a bachelor's degree after the completion of the two-year advanced course and the JABEE program. The National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education certifies the degree. So the completion of the advanced course means that you are qualified as a Fundamental Engineer in Applied Science, which could successfully lead you to be a Professional Engineer and a world-class engineer in the future. After obtaining the bachelor's degree, the students can go on to a graduate school.

The entrance fee is 84,600 yen and the college tuition is 234,600 yen per year. They are both considered to be inexpensive in the Japanese higher educational system.

本校専攻科の特色 Features of Advanced Courses

1. 特別研究の重視・充実 Emphasis on Research

本科において卒業研究を重視・充実した方針を継続発展させ、本校専攻科でも特別研究を学修成果の集大成として位置づけています。専攻科では「さらに高度な開発能力」を育成するため、特別研究の成果の公表に関し、次の基本方針を定めています。

The most important objective is the "Advanced Research". The advanced course encourages students to write their Research papers. Research papers should be presented and published in domestic or international journals.

目 標：学会誌への掲載
Final Goal : Publishing a Paper

単位取得要件：学協会での発表
Requirement : Presenting a Paper

特別研究の目標 Goal of the Advanced Research

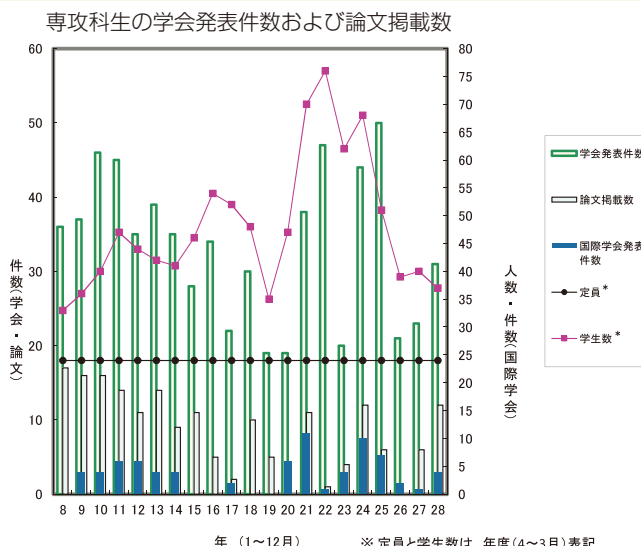
学内では2年次末に特別研究発表会を開き、論文集を刊行しています。なお、特別研究の指導はその資格を満たした教員が担当しています。

The graduation research reports are published every year. Faculty members who are qualified for the Advanced Research assist the students in their thesis.

2. 活発な学協会での発表 Publishing the Thesis

特別研究の成果は広く学協会に発表されており、その状況はきわめて活発です。学協会における講演発表は例年平均25~30件程度なされています。また学生の研究が学会から表彰される例も多く、目標としている「さらに高度な開発能力」を育成しつつあります。これらの実績は、学外からきわめて高い評価を受けています。

The advanced course encourages students to write their thesis papers. Students' research papers are often honored by academic societies.



3. 充実した教養科目

A Wide Variety of Liberal Arts

技術者として「世界に通用する」ためには、地球規模でいろいろなことを考え、行動することが強く求められています。コミュニケーション能力も、英語のみならず日本語に関しても、あるレベルまで養う必要があります。また、基礎科学の知識も広く修得しておくことが肝要です。さらに、リーダーシップのとれる技術者として、就業への心構えを整えることも重要です。これらの要求に対応できるよう、「技術者の倫理」「国際比較文化論」「日本語表現法」「生命科学」「産業論」など、充実した教養科目を開設しています。

In order to be a world-class engineer, one must be able to think and act globally. One should also have a command of English and good communication skills, even in Japanese. Besides an extensive knowledge of fundamental science, one should always be ready to work as an engineer with leadership quality.

A wide variety of liberal arts courses such as Engineering Ethics, Cross-Cultural Study, Japanese Technical Writing, Life Science and Current Industrial Issues is offered to train the students to be such world-class engineers.

4. 基礎学力、特に英語力の充実

Instilling Rudimentary Knowledge and Skills, Putting Special Emphasis on English Communication Skills

「世界に通用する」技術者になるためには、国際的な共通語である英語力の育成抜きにその実現は考えられません。本校専攻科では、その実現のため有用な多くの科目を開設し、具体的にはTOEICを対象に、次の基本方針を定めています。

It is necessary to have a command of English to be a world-class engineer. The advanced course system offers a lot of useful courses so that the students can fulfill that requirement. One of the classes prepares them for the TOEIC test to meet the requirement of at least the minimum numerical score shown below.

目 標 : TOEICスコア470以上
Desirable Score : Over 470 in TOEIC Test

5. 実践力と結びついた知識の総合化と創造力の育成

Training Students to Use Their Extensive Knowledge Practically and Develop Their Creativity

高専では、「高度なモノづくりをなしうる実践力」を養うことをめざしています。それを可能にするには様々な知識が必要であり、特に本校がめざしている複合技術分野ではその必要性が増してきます。本校専攻科では、それらの実現には知識の総合化が不可欠であると考えており、そのためいくつかの総合科目や実験ならびに演習を準備しています。

また、創造力の育成も重要なポイントです。自主的に取り組む講義や演習を通じ、本科で培った創造力に総合力を加味し、さらに磨きをかけるよう努力しています。

One of the aims of technical college education is to ensure the students be able to produce things with technical prowess. Extensive knowledge is necessary for the students to achieve that aim, especially in interdisciplinary fields to which our college pays close attention. The advanced course provides the students with lectures, experiments and exercises useful for helping them use their extensive knowledge in a practical way.

Developing their creativity is also very important. Heuristic classes and exercises help students combine the extensive knowledge and creativity nurtured through the five-year regular study to hone their technical edge.

6. 密度の濃い長期インターンシップの実施

A Practical Internship Program

「実践力」のある「開発型」技術者として成長するためには、現実の課題に取り組む訓練を積むことがきわめて重要です。本校専攻科では、1年次の前期にインターンシップを行います。企業などで課題に取り組むことにより、社会で通用する知識を確認し、それらをさらにブラッシュアップするとともに、不足している知識を知り、新たな課題を見出すことにもなります。インターンシップをより有効に機能させるため、実習期間は約3ヶ月と長期間にわたります。

To be a good engineer requires experience in dealing with actual problems. As an opportunity for such experience, the advanced course assigns internships to all first-year students. They are required to work as interns at various companies and schools for about three months.

By tackling on-the-spot problems at companies, they will find what knowledge is useful, what skills need to be improved and how to solve future problems.

7. 情報関連等外部資格の取得

Passing Qualifying Examinations

本校では、教育プログラムのベースとなる情報技術及びこれまで学習した「実践的」な知識の客観的・総合的な評価のために、情報関連等外部資格の取得を推奨しています。主な資格は以下のとおりです。

To prove objectively that the advanced course students have gained enough practical knowledge and a good command of information technology, they are required to pass at least one of the following qualifying examinations.

- | | | |
|--------------|-------------------|-------------------|
| ・情報処理技術者試験 | ・CAD利用技術者試験 | ・二級建築施工管理技術検定（学科） |
| ・電気通信工事担任者試験 | ・機械設計技術者試験 | ・福祉住環境コーディネーター検定 |
| ・デジタル技術検定試験 | ・二級建築士 | ・土木学会認定2級土木技術者 |
| ・CG-ARTS検定 | ・二級土木施工管理技術検定（学科） | |

8. 社会人の受け入れ

Entrance of Engineers of Company

本校では、企業との共同研究を積極的に行う方針を打ち出しています。その意味からも、企業で活躍している社会人技術者に広く門戸を開放し、積極的に受け入れる体制をとっています。技術や知識のリフレッシュを主目的とする場合はもちろんですが、企業で抱えている問題にじっくり取り組むことも可能です。

National Institute of Technology, Tokuyama College encourages collaboration with companies providing opportunities for the engineers of companies to enter the advanced course. The advanced course enables engineers to resolve engineering problems that have arisen and to refresh their skills.

9. 入学者選抜方法

Peculiar Entrance Examination System

選抜方法は学校長推薦、社会人特別選抜、学力選抜の三つがあります。本専攻科の大きな特徴は、学校長推薦において卒業研究計画書の提出を課している点であり、研究面における基礎的素養ならびに研究への意欲を評価しています。

There are three entrance examination systems i.e., “Examination by Presidential Recommendation of Various Colleges”, “Examination by Industrial Recommendation” and “General Entrance Examination”.

志願者数と入学者数 Applicants and Admissions

入学年度	2013		2014		2015		2016		2017	
区 分 Classification	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit
推薦選抜 Recommended	16	16	18	18	17	17	15	15	16	15
学力選抜 General Exam.	19	2	15	4	17	2	13	4	12	3
合 計 Total	35 (0)	18 (0)	33 (0)	22 (0)	34 (0)	19 (0)	28 (0)	19 (0)	28 (0)	18 (0)

（ ）内は社会人

機械制御工学専攻

Mechanical and Control Engineering Course

機械制御工学専攻の教育目標は、「コンピュータで制御する機械を設計・開発する技術者の育成」です。本校の機械電気工学科あるいは他校の機械工学系及び計測制御工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「材料」、「エネルギー」、「情報」、「設計・加工」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop machines controlled by computers.

Mechanical and Control Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to materials, energy, information, and design and production to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目 Subjects				単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
					1年	2年	
					1st	2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2		
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2	
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2	
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2	
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2		
		産業論	Current Industrial Issues	2	2		
		経営管理	Business Administration	2	2		
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2	
		教養必修科目小計	Subtotal	16	8	8	
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2	
英会話		English Conversation	2		2		
教養選択科目小計		Subtotal	4		4		
教養科目計		Subtotal	20	8	12		
専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2		
		物理科学	Physical Science	2	2		
		生命科学	Life Science	2		2	
		機械制御工学専攻英語講読	Technical English of Mechanical and Control Engineering	2	2		
		専門基礎必修科目小計	Subtotal	8	6	2	
	選択 Elective	応用統計学	Applied Statistics	2	2		
		工学解析	Engineering Analysis	2	2		
		離散数学	Discrete Mathematics	2		2	
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2	
		専門基礎選択科目小計	Subtotal	8	4	4	
	専門基礎科目計		Subtotal	16	10	6	
	専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
			機械制御工学専攻総合実験	Experiment of Mechanical and Control Engineering	2	2	
コンピュータ総合演習			Practice of Computer	2	2		
機械制御工学専攻総合演習			Practice of Mechanical and Control Engineering	2		2	
応用研究			Applied research	2	2		
特別研究			Thesis Work	6		6	
専門必修科目小計			Subtotal	20	12	8	
選択 Elective		弾性力学	Mechanics of Elasticity	2	2		
		材料強度学	Strength and Fracture of Materials	2		2	
		生体機械力学	Dynamics and Biomechanics	2		2	
		#材料設計工学	Materials for Design	2		2	
		流体制御工学	Fluid Control Engineering	2	2		
		#熱流体工学	Dynamics of Heat and Fluid Flow	2		2	
		環境設計論	Theory of Environmental Design	2		2	
		自動加工学	Automatic Mnufacturing	2		2	
		#C A E	Computer Aided Engineering	2		2	
		応用計測工学	Applied Measurement Engineering	2	2		
		回路応用設計	Applied Circuit Design	2	2		
		応用電磁気学	Applied Electromagnetism	2		2	
		電気音響学	Electroacoustics	2		2	
		電気電子工学特論	Electrical and electronics engineering	2		2	
		情報工学特論	Advanced Information Engineering	2		2	
		システム制御工学	System Control Engineering	2		2	
		#システム設計工学	System Design Engineering	2		2	
		#ロボット制御工学	Robot Control Engineering	2		2	
		認識工学	Pattern Recognition	2		2	
		画像処理応用	Applied Image Processing	2		2	
		電子材料工学	Electronic Materials Engineering	2		2	
			専門選択科目小計	Subtotal	42	8	34
		専門科目計		Subtotal	62	20	42
合 計				98	38	60	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

情報電子工学専攻

Computer Science and Electronic Engineering Course

情報電子工学専攻の教育目標は、「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術者の育成」です。本校の情報電子工学科あるいは他校の情報工学系及び電子工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、高度化する情報化社会に対応するため、コンピュータを核とする「情報処理システム」、「情報通信システム」、「コンピュータ応用機器システム」などの融合システムに関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop various computer-based systems.

Computer Science and Electronic Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. In order to meet the needs of a highly-developed information-oriented society, it also offers elective subjects relating to compound systems, such as information processing system, information and communications system, and system for computer-applied machines.

教育課程 Curriculum

授業科目Subjects				単位数Credits	学年別開設単位数Credits you can acquire	
					1年1st	2年2nd
教養科目General Subjects	必修Required	日本語表現法Japanese Technical Writing	2	2		
		科学英語表現法Technical English Writing	2		2	
		技術者の倫理Ethics for Engineers	2		2	
		国際比較文化論Cross-Cultural Study	2		2	
		総合英語Extensive English Exercises	2	2		
		産業論Current Industrial Issues	2	2		
		経営管理Business Administration	2	2		
		安全工学概論Introduction to Safety Engineering	2		2	
		教養必修科目小計Subtotal	16	8	8	
	選択Elective	経営工学Industrial Engineering	2		2	
		英会話English Conversation	2		2	
		教養選択科目小計Subtotal	4		4	
教養科目計Subtotal		20	8	12		
専門基礎科目Department Fundamental Subjects	必修Required	一般化学General Chemistry	2	2		
		物理科学Physical Science	2	2		
		生命科学Life Science	2		2	
		情報電子工学専攻英語講読Technical English of Computer Science and Electronic Engineering	2	2		
		専門基礎必修科目小計Subtotal	8	6	2	
	選択Elective	応用統計学Applied Statistics	2	2		
		工学解析Engineering Analysis	2	2		
		離散数学Discrete Mathematics	2		2	
		Engineering MathematicsEngineering Mathematics	2		2	
		専門基礎選択科目小計Subtotal	8	4	4	
	専門基礎科目計Subtotal		16	10	6	
	専門科目Department Subjects	必修Required	インターンシップInternship	6	6	
情報電子工学専攻総合実験Experiment of Computer Science and Electronic Engineering			2	2		
生体情報工学Biological Information Engineering			2	2		
情報電子工学専攻総合演習Practice of Computer Science and Electronic Engineering			2		2	
応用研究Applied research			2	2		
特別研究Thesis Work			6		6	
専門必修科目小計Subtotal			20	12	8	
選択Elective		オートマトンと計算論Automata and Computation	2	2		
		知識データベースKnowledge Database	2		2	
		情報論理学Logic and Software	2	2		
		# 自然言語処理Natural Language Processing	2		2	
		認識工学Pattern Recognition	2		2	
		通信ネットワーク工学Communication Network	2		2	
		# コンピュータネットワークプロトコルComputer Network Protocol	2		2	
		光情報処理Optical Information Processing	2		2	
		論理設計Logic Design	2	2		
		# コンピュータ構成学Computer Architecture	2		2	
		画像処理応用Applied Image Processing	2		2	
		システム計測工学System Measurement	2	2		
		# コンピュータ制御Computer-Controlled Systems	2		2	
		制御工学Control Engineering	2	2		
		電子材料工学Electronic Materials Engineering	2		2	
		専門選択科目小計Subtotal	30	10	20	
		専門科目計Subtotal		50	22	28
		合 計Total of Required Credits		86	40	46

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

環境建設工学専攻

Environmental and Civil Engineering Course

環境建設工学専攻の教育目標は、「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術者の育成」です。本校の土木建築工学科あるいは他校の土木工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「都市・交通」、「防災」、「環境」、「建築」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop infrastructure and architectural space, making the best use of computers.

Environmental and Civil Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to cities and traffics, disaster prevention, environment, and architecture to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目 Subjects			単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
		教養必修科目小計	Subtotal	16	8	8
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
		英会話	English Conversation	2		2
教養選択科目小計		Subtotal	4		4	
教養科目計		Subtotal	20	8	12	
専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2	
		物理科学	Physical Science	2	2	
		生命科学	Life Science	2		2
		環境建設工学専攻英語講読	Technical English of Environmental and Civil Engineering	2	2	
		専門基礎必修科目小計	Subtotal	8	6	2
	選択 Elective	応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		離散数学	Discrete Mathematics	2		2
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計	Subtotal	8	4	4
	専門基礎科目計		Subtotal	16	10	6
専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
		環境建設工学専攻総合実験	Experiment of Environmental and Civil Engineering	2	2	
		建設プログラミング	Programming for Construction Engineers	2	2	
		環境建設工学専攻総合演習	Practice of Environmental and Civil Engineering	2		2
		応用研究	Applied research	2	2	
		特別研究	Thesis Work	6		6
		専門必修科目小計	Subtotal	20	12	8
	選択 Elective	#耐震工学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		鉄筋コンクリート構造学	Reinforced Concrete Structure	2		2
		構造設計論	Structural Design	2	2	
		連続体力学	Continuum Mechanics	2		2
		計算工学	Computational Mechanics	2		2
		土質力学	Soil Mechanics	2		2
		建築生産論	Building Production Theory	2	2	
		地形情報処理学	Geographical Information Processing	2	2	
		#耐震基礎構造学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		水理科学	Hydraulics	2	2	
		応用水理学	Applied Hydraulics	2		2
		建築環境設計論	Architectural Environmental Design	2	2	
		#環境システム工学	Environmental System Engineering	2		2
		#住宅計画学	Planning of Housing	2	2	
		#都市環境計画学	Urban and Environmental Planning	2		2
		#建築設計計画学	Architectural Design and Planning	2		2
			専門選択科目小計	Subtotal	32	12
	専門科目計		Subtotal	52	24	28
合 計		Total of Required Credits	88	42	46	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

図書館

Library

図書館は学術研究支援と教育資料の収集を目的として設置されています。
 本校の図書館は、学校の中心部に位置し利用者にとって便利であると共に周南市街や瀬戸内海の美しい景色が一望できます。閲覧室には、約3万8千冊の図書と340種類の雑誌などがあり、学生証で借り出しができます。また、パソコンを利用して学内外の資料の検索が可能です。

Our college library is in the administration office building. From the library you can see a beautiful view of the Inland Sea and Shunan City.

About 38,000 books (including 800 books in foreign languages) and 340 magazines of various kinds are housed in an open air-conditioned room.

Students can borrow books with their ID cards. Literary references are easily through computers.

開館時間

月曜日～金曜日 9時～19時
 土曜日 9時～12時

(春季、夏季、冬季、学年末の休業期間中は)
 月曜日～金曜日 9時～17時
 土曜日 休館

休館日

日曜日・国民の祝日
 年末・年始(12月28日～1月4日)

Open

Monday～Friday 9:00-19:00
 Saturday 9:00-12:00

(Spring, Summer & Winter Vacations)
 Monday～Friday 9:00-17:00
 Saturday Closed

Closed

Sunday, National holidays
 New year's holidays (Dec.28 - Jan.4)

蔵書冊数(平成29年3月31日現在)

Collections of Books (As of March 31, 2017)

	図 書 (冊) Books (Vols)	雑 誌 (種類) Periodicals (Kinds)	その他の資料 (点) Other Materials (Kinds)
和 漢 書 Japanese	75,026冊	618種	1,046点
洋 書 Foreign	10,374冊	250種	179点
合 計 Total	85,400冊	868種	1,225点



情報処理センター

Information Processing Center

情報処理センターは、外部接続回線、校内LANシステムおよび学内共有の教育用電算機システムの管理・運用を担当します。校内の全ての部屋にネットワークの接続口である情報コンセントが設置されており、校内のどこからでもネットワークに接続できます。

平成25年4月より、新校内LANシステムの運用を開始しました。これまでのシステムに比べて、サーバを仮想化したことが主な特徴です。併せて、高専機構が各高専に導入した認証サーバを用いて、教職員および学生の認証を一元管理しています。

さらに、同年、教育用電算機システムも新しくなりました。ネットブート方式を採用し、OSやソフトウェアの更新作業の更なる効率化を図り、最新のソフトウェアを提供する環境を整えています。学生が自由に利用できるネットワーク端末（パソコン）が情報処理センターのパソコン室に合計100台用意されています。放課後（19時まで）は学生相談員が常駐し、学生は課題やレポートの作成などで、大いに利用しています。

The information-processing center manages and operates externally-connected lines, the school LAN system, and the educational computer system shared in school. All the rooms are now equipped with network sockets, so that you can connect any computer to the LAN.

The center started operating a new school LAN system in April of 2013. Compared with the previous system, the new system is marked by the virtualized server. Also, it centrally controls the authentication of faculty members and students, using the authentication server the headquarters of institute of national colleges of technology have introduced in each college.

In addition, we have renewed the educational computer system. Since it adopts the NetBoot method, it can update the OS and the software more efficiently, providing you with the latest software. The computer room in the center has a total of 100 personal computers that students can use freely. Senior students who are good at using computers are assigned to work as assistants for other students until 7 p.m. After school the center is full of students who are doing their homework and writing their papers.

情報処理センター管理システム Computer Systems of Information Processing Center

高専機構共通システム Administration System for National Institute of Technology	ファイアウォール	FortiGate 300c	1台
	ログ管理サーバ	FortiAnalyzer 100c	1台
	認証サーバ	PRIMERGY RX100S7	2台
校内LANシステム LAN Control System	DNSサーバ、Mailサーバ、Webサーバ、Webメールサーバ、スパムフィルタサーバ、アンチウィルスサーバ、バックアップサーバ、Syslogサーバ、ファイルサーバ、ADサーバ等	仮想化用サーバ ProLiant BL460c Gen8	3台
		共有ストレージサーバ StorageWoks P4500G2	2台
		バックアップサーバ ProLiant DL380p Gen8	1台
教育用電算機システム Computer Systems for Educational Use	ADサーバ	ProLiant DL360e Gen8	1台
	ファイルサーバ	ProLiant DL360p Gen8	1台
	ネットブートシステムサーバ	ProLiant DL360e Gen8	3台
	学生用クライアントPC	Compaq Elite 8300 SFF PC	102台
	教師用クライアントPC	Compaq Elite 8300 SFF PC DTU-2231AA	2台 2台



テクノ・リフレッシュ教育センター

Center for Collaborative Research and Education

徳山高専が位置する周南地域（山口県東南部）は山口県での技術と企業の一大集積地です。徳山高専に対して周南地域唯一の工業系高等教育機関として多くの期待が寄せられています。

テクノ・リフレッシュ教育センターは、地域連携の拠点をめざして、技術相談、共同研究、各種セミナー等による技術交流の促進及び各種人材育成プログラム等による生涯学習の支援のための活動を行っています。特に、会員企業と徳山高専により構成される「徳山高専テクノ・アカデミア」では、これらのことをさらに進める特別な事業を展開しています。

Shunan is a great integrating area of technology and enterprises in Yamaguchi prefecture.

A large expectation is placed on National Institute of Technology, Tokuyama College a unique advanced educational institution of technology in Shunan area.

The objectives of the Center are to assist with the arrangement and accomplishment of cooperative projects, to be a consultant of technical problems for private enterprises and to hold refresher education for professionals.

Our college plays a vital role in research and development, and construction activities of Shunan area.

目的

山口県と周南地域の諸機構、大学、他高専等と連携して、地域産業界との技術交流や地域市民の生涯学習支援を推進することにより、徳山高専の教育研究の充実発展に寄与し、併せて地域社会に貢献する。

産官学技術交流

（１）技術相談

科学技術相談のみならず、地域社会の様々なニーズに関する相談に対応しています。また、徳山高専テクノ・アカデミア事業の一環として、徳山高専の教員が企業に出向いて交流を実施し、企業の抱えている課題等の解決策を採る技術相談にも積極的に応じています。

（２）各種セミナー・講演会の開催

徳山高専テクノ・アカデミア事業として、技術セミナー、特別セミナー及び特別講演会を開催しています。

（３）共同研究の推進

企業・団体等が徳山高専と行う共同研究、受託研究、試験研究等を仲介するとともに、その実施を支援します。徳山高専テクノ・アカデミア事業の中にも独自の共同研究制度があります。

（４）研究会活動の支援

地域の企業ニーズを集約し、産業振興のブレークスルーとなるような製品や商品の研究開発を目指して、個別の課題毎に産官学からなる小規模の研究会を設立し、その活動を支援します。

生涯学習支援

（１）人材養成講座（出前講座を含む）

徳山高専テクノ・アカデミアと共同で企業の若手技術者の人材育成を目的とした基礎技術講座を開設し、地元産業界の技術者育成を支援しています。

（２）公開講座・出前授業

小・中学生を対象とした「サイエンス・ピクニック」、「英語講座」などの公開講座、「防災出前授業」、「中学生のための出前授業」などの出前授業を毎年実施しています。この他にも、科学技術の振興を図ることを目的とした講座や、徳山高専夢広場でのイベントを開催しています。

主な活動状況

活動状況については「教員の研究活動」、「社会との連携」のページをご覧ください。



教員のFD活動

Faculty Development

徳山高専では、社会に対する教育の質を保証することを目的として、この目的の達成に必要な教員の教授能力や技能を向上させるための研修を実施しています。

In order to guarantee the quality of education for students, we conduct training to improve the educational skills.

教育関係FD活動実績(平成28年度) Professional development for educators in Tokuyama College

開催日 Period	演題等 FD Program Name	講師等 Facilitator/Organizer
2016年4月19日	在外研究報告会	在籍教員：柳澤 秀明 氏
2016年6月15日	在外研究報告会	在籍教員：西尾 幸一郎 氏
2016年7月29日	ファシリテーション研修	一般社団法人こころ塾代表理事 内木場 三保 氏
2016年8月23日	国際バカロレア勉強会	呉工業高等専門学校 環境都市工学科 加納 誠二 氏 北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 油谷 英明 氏
2016年9月6日	第一回ワールドカフェ	一般社団法人こころ塾代表理事 内木場 三保 氏
2016年10月19日	第二回ワールドカフェ	一般社団法人こころ塾代表理事 内木場 三保 氏
2016年11月24日	徳山高専&沖縄高専合同ワークショップ（於：徳山高専）	一般社団法人こころ塾代表理事 内木場 三保 氏
2016年12月1日	ファシリテーション研修	有限会社キャッツ 代表取締役 鎧 貴絵 氏
2017年1月7日	ティーチング・ポートフォリオ（TP）作成ワークショップ	阿南工業高等専門学校 電気電子工学科 松本 高志 氏
2017年1月12日	徳山高専&沖縄高専合同ワークショップ（於：沖縄高専）	一般社団法人こころ塾代表理事 内木場 三保 氏
2017年2月28-3月1日	ID（インストラクショナルデザイン）研修	明石工業高等専門学校 機械工学科 アクティブラーニング推進担当 石田 百合子 氏
2017年3月8日	CTT+基礎研修	株式会社ビズコム 代表取締役 鹿野 晴夫 氏
2017年3月13日	沖縄高専との合同ワークショップ&産学ワールドカフェin徳山	
2017年3月21-3月22日	英語で授業を行うための教員向け研修	株式会社アルク教育社 福岡支店 木竹 正和 氏

その他FD活動 The other professional or staff development in Tokuyama College

開催日 Period	演題等 FD Program Name	講師等 Teacher
2016年5月12日	教職員ゲートキーパー研修	四天王寺学園中学校 スクールカウンセラー 阪中 順子 氏
2016年6月10日	科研費申請書を書く前に ～ブラッシュの経験からのPOINT～	山口大学 大学研究推進機構 研究推進戦略部 URA室シニアURA 田丸 雅敏 氏
2016年9月15日	知的財産研修会	高専機構本部事務局研究・産学連携推進室
2016年9月15日	ハラスメント防止研修・メンタルヘルス研修	
2016年12月10日	クラブリーダー研修会	徳地青少年自然の家

学外へのFD活動参加 Participation in Faculty Development outside Tokuyama College

参加FD内容 FD Program Name	実施団体・組織等 Organizer
新人教員研修	国立高等専門学校機構
アクティブラーニングトレーナー研修	国立高等専門学校機構
インストラクショナル・デザイン講習	国立高等専門学校機構
Blackboard講習会	国立高等専門学校機構
KOSEN発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト 高専研究報告「KOSEN教育の光と影」	東京工業高等専門学校

教員の研究活動

Research Activities

(1) 科学研究費助成事業申請状況 Number of Applicants Scientific Research

注：() は継続課題で内数

種目 年度	特別推進 研究	新学術 領域研究	基盤研究 (S)	基盤研究 (A)	基盤研究 (B)	基盤研究 (C)	挑戦的 萌芽研究	若手研究 (A)	若手研究 (B)	研究活動 スタート支援	奨励研究	計
27 申請 採択					1	14 (4)	10 (2)		7 (3)	3 (1)	7	42 (10)
28 申請 採択					1	22 (3)	14 (3)	1	4 (2)	2 (1)	9	56 (9)
						7 (3)	4 (3)	1		1 (1)		17 (9)

(2) 科学研究費助成事業採択状況 Grant-in-Aid for Scientific Research

(単位：千円)

年度 Year	研究種目 Research Items	研究課題 Research Theme	交付額 Funds
平成28 2016	基盤研究 (C)	アジアにおける日本の技術者高等教育プログラムの相対的達成度と課題	1,300
	基盤研究 (C)	ミクロスケール・スラリー流れ可視化観察による研磨メカニズムの解明	1,170
	基盤研究 (C)	鉄筋コンクリートシェルの耐荷力と縁ばりの効果に関する研究	910
	基盤研究 (C)	針状金属ナノ粒子と樹脂を複合化した左手系複合材料の開発と応用	3,120
	基盤研究 (C)	特例子会社－教育機関の産学連携による次世代人材育成に関する調査・実践研究	2,080
	基盤研究 (C)	超音波振動による衝撃吸収特性の解明	1,820
	基盤研究 (C)	質の高い情報通信技術者を育成するための総合的なカリキュラムの開発と普及	1,170
	挑戦的萌芽研究	日本近代文学における活字文化と美術との共鳴に関する研究	650
	挑戦的萌芽研究	CubeSat開発による教育効果の評価と技術者教育への適用研究	1,040
	挑戦的萌芽研究	菌根菌検査方法の開発	1,300
	挑戦的萌芽研究	学校・地域社会・行政の連携による通学路安全対策の仕組みづくりに関する実践的研究	2,210
	若手研究 (A)	ノイズマップ作成・活用に関する総合的研究	7,020
	若手研究 (B)	ヒトの歩行及び障害物回避動作に関する視覚機能－動作機序の解明	650
	若手研究 (B)	知的障害者グループホームの室内温熱環境と体温調節行動が居住者の健康性に与える影響	0
	若手研究 (B)	「水と霧に触れる」総合的インタラクション技術の基盤確立	2,340
	若手研究 (B)	ハンズフリー音声認識・視線検出による上肢不自由者への文書作成支援の確立	1,820
	研究活動スタート支援	アリストテレスの問答法の理論とその発展的解釈の研究	520

(3) 寄附金受入状況 The Amount of Donations Received

(単位：千円)

平成24年度 2012		平成25年度 2013		平成26年度 2014		平成27年度 2015		平成28年度 2016	
件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds
38	8,840	33	8,367	36	7,262	35	8,963	40	8,368

(4) 共同研究受入状況 Joint Research with Private Enterprises

年度 Year	研究題目 Research Theme	研究方式 Form
平成28 2016	自主防災育成活動の実践と評価	分担型
	建設足場構造の設計法に関する研究	
	Webページ注釈支援ツールの利活用に関する研究	
	業務効率化のための文書共有技術に関する研究	
	汎用流れ解析ソフトを利用した研磨シミュレーション技術の開発	
	山口県のコングリート構造物品質確保の推進に関する研究	
	土砂災害に着目した防災教育の手法に関する実践的研究 (1回1時限の小学校での防災出前授業のテキスト・教材の開発)	
	自転車歩行者道内における自転車通行位置の明示方法に関する検討	
	有効成分含有量の高い甘草属植物の種苗と系統識別技術の開発	
	地盤改良材としての廃石膏の活用に関する研究	
	骨格形状の個体差把握及び着座姿勢の骨格モデル化に関する研究	
	自社工場製造のマグネシウム系固化材と真砂土・山砂、竹繊維を用いた土系舗装材「雑草アタックS」製品の配合研究	
	新立電機ものづくり地産地消技術による新規販路開拓及び生産性向上	
	トース土工法による緑化基盤材の芝の生育に関する研究	
	五島錫石を原材料として使用した防草材料に関する研究	
	自然土又はリサイクル細骨材、マグネシウム系固化材と竹繊維を用いた自然色防草土吹付工法 (マグファイバー工法) のための性能評価に関する研究	
	薄板金属加工技術の生産手法に関する基礎研究	
	生物飼育施設における水循環装置の基礎研究	
	マグネシウム系固化剤を用いた改良土の性能評価に関する研究	
	海水マグネシウム系固化剤コンクリートの利用に関する研究	
	各種SKD11系材料とそれらに表面処理を行った改質材の疲労特性と各種機械特性の検討	
	木造壁構造の強化に関する研究	
	携帯端末アプリ作成のためのプログラミング教育法に関する研究	
	高専－技科大間の連携による小・中学校との「連携教育 (防災教育等)」のプログラム化 (知る・考える・行動する) に関する共同研究	
	ネットワーク衛星デザイン「工房」のための連携教育フォーラム	

社会との連携

Cooperation with Society

(1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業

What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies

・アカデミア共同研究

年度 Year	研 究 題 目 Research Theme
平成27 2015	片耳難聴者のための集音器の音信号処理部の開発
	新技術を活用した徳山動物園における修景デザインの検討に関する研究
	土壌微生物を用いた新しい農業技術の検討
	豪雨対策型遮水緑化シートの性能評価及び仕様検討に関する研究
	小規模ビオトープ用水循環装置の水質改善に関する基礎研究
	計測データを集約・活用するためのプラットフォームの開発
平成28 2016	新立電機ものづくり地産地消技術による新規販路開拓及び生産性向上
	生物飼育施設における水循環装置の基礎研究
	薄板金属加工技術の生産手法に関する基礎研究

・産学連携研究会（平成28年度）

研究テーマ	対象	日程	参加者数	会場
製造業における情報技術の効果的活用研究会	企業の技術者	1月16日・3月 9日	延べ31名	徳山高専
地盤防災研究会		9月30日・2月10日	延べ40名	徳山高専
センサネットワーク実用化研究会		11月25日・2月28日 3月22日	延べ24名	徳山高専

・人材養成講座（平成28年度）

講 座 名 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	受講者数 Number	会 場 Place
3次元CAD設計講座 ～初心者入門編～	企業の技術者	3月 8日	15名	徳山高専
安全な、覚えやすいパスワードの作り方		3月 9日	5名	徳山高専

(2) 公開講座等（平成28年度）

Extension Courses (2016)

講 座 名 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	会 場 Place
いんぐりっしゅ☆る～む	市民一般	毎週金曜日	サテライト・オフィス 「夢広場」
パソコン若葉相談室	市民一般	月2回程度水曜日	サテライト・オフィス 「夢広場」
徳山高専実験教室 「大気圧と真空の科学」	小学高学年以上	4月17日	徳山高専
留学生のふるさと展	市民一般	7月 9日	サテライト・オフィス 「夢広場」
「夏休みの自由研究」相談室	小・中学生	8月 6日	サテライト・オフィス 「夢広場」
サイエンス・ピクニック A（工作機械・レーザ加工） B（3Dプリンタ・ピラミッドのひみつ） C（金メッキ・ロボット制御） D（わくわくプログラミング） E（ひみつ基地づくり）	小学生	8月 3日	徳山高専
踏切を作ろう —マイコンによるセンサー、音、光、モーターの制御—	小学4年生～ 6年生	8月23日	徳山高専
アルキメデス・ポンプを作ろう	小学4年生～ 6年生	8月27日	徳山高専

パソコン若葉相談室スペシャル 「Word」・「Excel」・「PowerPoint」	市民一般	8月31日・9月 1日 9月 2日	サテライト・オフィス 「夢広場」
ロボット製作教室	小・中学生	8月19日・8月21日 8月24日・8月28日 8月30日・9月10日	徳山高専・菊川公民館 岐山公民館・熊毛公民館
中・高連携バレーボール教室	中学校バレーボール 山口県選抜選手	10月 9日	徳山高専
クリスマス箱庭製作教室	市民一般	12月 3日	サテライト・オフィス 「夢広場」
周南ゆめ物語～かがくスクウェア～ プログラミングでイルミネーション&簡単工作	小・中学生	12月 4日	ザ・モール周南
英語講座（中学英語の復習） ー重要ポイントをしっかりマスターしよう！ー	中学3年生	12月10日	徳山高専
格安ユニットとMDF板で自分だけの小型スピーカーをつくろう！	小学5年生～ 中学生	12月18日	徳山高専
まちなかの小さな卒研発表会	市民一般	3月11日	サテライト・オフィス 「夢広場」

(3) 夏休みジュニア科学教室（主催：夏休みジュニア科学教室実行委員会）（平成28年度）

Science Courses Offered for Children during Summer Vacation (2016)

講 座 名 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	受講者数 Number	会 場 Place
新しい明かり ～発光ダイオード(LED)の仕組みと様々な応用～	小学5年生～ 中学生	7月24日	20名	徳山高専
水中の昆虫たち ー蛍の光を作ってみよう！ー			20名	

(4) 地域からの依頼による工作教室等（平成28年度）

Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities (2016)

依 頼 機 関 等 Requested by ~	内 容 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	場 所 Place
防府市青少年科学館	サイエンスアカデミー 「金めっきと銅めっきの実験」 「簡単！手作りスピーカー」 「モールス符号ってなんだ？」	小学5年生 ～中学生	7月17日・7月24日 7月31日	防府市青少年科学館
山口県教育委員会	専門家と連携した防災出前授業	県内小・中学生	6月 6日～12月 5日	岩国市立美川小学校他
周南市立岐陽中学校	周南探訪「周南市を防災面から学ぶ」	中学1年生	6月27日	周南市立岐陽中学校
防府市立華浦小学校	徳山高専出前講座	小学4年生～ 6年生	8月19日	防府市立華浦小学校
下松市立久保中学校	防災教育コンソーシアム	中学2年生	8月22日・11月28日	下松市立久保中学校
周南市立桜田中学校 下松市立下松中学校	中学生のための出前授業 ー高専ってどんな勉強をするところなの？ー	中学1・2年生	3月 7日・3月10日	周南市立桜田中学校 下松市立下松中学校

(5)公的な機関からの依頼による各種委員等（平成28年度）

Committee Member Posts Appointed by Public Organizations

依 頼 機 関	Requested by ~ / 内 容	Name of the Committee or the Course
国土交通省	中国地方整備局総合評価審査委員会山口県部会委員	
山口県	技術アドバイザー	
山口県	グループウェアシステム再構築業務審査委員会委員	
山口県	山口県屋外広告物審議会委員	
山口県	山口県公共事業評価委員会委員	
山口県	山口県自然環境保全審議会委員	
山口県	山口県大規模小売店舗立地協議会委員	
山口県	山口県土木建築部建設工事総合評価審査委員会委員	
山口県教育委員会	通学路安全対策アドバイザー	
山口県教育委員会	山口県文化財保護審議会委員	
山口県教育委員会	専門家と連携した防災授業講師	
山口地方裁判所	専門委員	
岩国市	（仮称）錦帯橋資料館整備検討委員会委員	
岩国市	岩国市錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員	
岩国市	岩国市公共施設等総合管理計画検討委員会委員	
岩国市	黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会委員	
柳井市	柳井市都市計画審議会委員	
柳井市	柳井市景観審議会委員	
光市	光市環境審議会委員	
光市	光市廃棄物減量等推進審議会委員	
光市	光市防災会議委員	
下松市	下松市空家等対策協議会委員	
下松市	下松市景観審議会委員	
下松市	下松市地域公共交通活性化協議会委員	
下松市	下松市都市計画審議会委員	
周南市	周南市空き家等審議会委員	
周南市	周南市行政改革審議会委員	
周南市	周南市景観審議会委員	
周南市	周南市下水処理場運転維持管理業務委託に係るプロポーザル選定委員会委員	
周南市	周南市建築審査会委員	
周南市	周南市交通運営協議会委員	
周南市	周南市ごみ対策推進審議会委員	
周南市	周南市市民参画推進審議会委員	
周南市	周南市住生活基本計画策定委員会委員	
周南市	周南市人権推進審議会委員	
周南市	周南市男女共同参画審議会委員	
周南市	周南市文化財審議会委員	
周南市	周南市防災会議委員	
周南市	周南市ホームページリニューアル業務委託にかかる公募型プロポーザル選定委員会委員	
周南市	周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員	
周南市	周南市都市計画審議会委員	
周南市	周南市都市再生審議会委員	
周南市	周南市入札監視委員会委員	
周南市	歩行者優先道路化検討委員会委員	
周南市	「夏休み子どもサイエンス教室」講師	
防府市	防府市空家等対策協議会委員	
防府市	防府市景観賞選考委員会委員	
防府市	防府市景観審議会委員	
防府市	防府市公会堂改修設計者選定委員会委員	
防府市	防府市合流式下水道緊急改善事業事後評価アドバイザー会議委員	
防府市	防府市生活交通活性化推進協議会委員	
防府市	防府市地域公共交通会議委員	
防府市	防府市地域公共交通活性化協議会委員	
防府市	防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会委員	
防府市	防府市都市計画審議会委員	
防府市	防府市都市計画マスタープラン更新委員会委員	
防府市	防府市都市計画マスタープラン更新業務委託候補者選定委員会委員	
宇部市	宇部市建築審査会委員	
下関市	下関市景観審議会デザイン委員会委員	

学 生

Students Statistics / Financial Information

(1) 学科定員及び現員 Quota and Enrollment in Departments

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

学 科 Department	区 分 Classification	入学定員 Quota	1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	計 Total
機 械 電 気 工 学 科 Mechanical and Electrical Eng.		40	41 (2)	43 (3)	41 (2)	43 (3)	38 (0)	206 (10)
情 報 電 子 工 学 科 Computer Science and Electronic Eng.		40	44 (13)	38 (6)	47 (13) <1 (1)>	38 (11)	39 (10)	206 (53) <1 (1)>
土 木 建 築 工 学 科 Civil Eng. and Architecture		40	41 (19)	43 (16)	41 (18) <1 (0)>	45 (17) <2 (0)>	38 (11) <2 (1)>	208 (81) <5 (1)>
計 Total		120	126 (34)	124 (25)	129 (33) <2 (1)>	126 (31) <2 (0)>	115 (21) <2 (1)>	620 (144) <6 (2)>

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科定員及び現員 Quota and Enrollment in Advanced Course

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

専 攻 Course	区 分 Classification	入学定員 Quota	1 年 1st	2 年 2nd	計 Total
機 械 制 御 工 学 専 攻 Mechanical and Control Engineering Course		4	3	3	6
情 報 電 子 工 学 専 攻 Computer Science and Electronic Engineering Course		4	4	9 (1)	13 (1)
環 境 建 設 工 学 専 攻 Environmental and Civil Engineering Course		4	11 (1)	8 (1)	19 (2)
計 Total		12	18 (1)	20 (2)	38 (3)

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学科別入学志願者状況 Number of Applicants in Departments

区 分 Classification	学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
平成27 2015	志願者 Applicants	109 (4)	122 (28)	174 (59)	405 (91)
	入学者 Students Admitted	42 (2)	44 (12)	41 (19)	127 (33)
	倍 率 Ratio of Competition	2.7	3.1	4.4	3.4
平成28 2016	志願者 Applicants	100 (10)	89 (24)	134 (40)	323 (74)
	入学者 Students Admitted	40 (3)	40 (6)	43 (16)	123 (25)
	倍 率 Ratio of Competition	2.5	2.2	3.4	2.7
平成29 2017	志願者 Applicants	102 (5)	130 (29)	118 (37)	350 (71)
	入学者 Students Admitted	41 (2)	42 (13)	41 (19)	124 (34)
	倍 率 Ratio of Competition	2.6	3.3	3.0	2.9

() は女子学生内数 Female Students

(4) 専攻別入学志願者状況 Number of Applicants in Advanced Course

区 分 Classification	専 攻 Course	機械制御工学専攻 MC	情報電子工学専攻 CE	環境建設工学専攻 EC	計 Total
平成27 2015	志願者 Applicants	8	14 (1)	12 (2)	34 (3)
	入学者 Students Admitted	4	8	7 (2)	19 (2)
平成28 2016	志願者 Applicants	7	10 (1)	11 (1)	28 (2)
	入学者 Students Admitted	3	8 (1)	8 (1)	19 (2)
平成29 2017	志願者 Applicants	4	10	14 (2)	28 (2)
	入学者 Students Admitted	3	4	11 (1)	18 (1)

() は女子学生内数 Female Students

(5) 本科出身地別在学生数 Hometown Classification of Students

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

地域	学年	1年	2年	3年	4年	5年	合計
岩 国 市		16 (4)	8 (2)	9 (3)	14 (7)	12 (4)	59 (20)
玖 珂 郡		1	1	1 (1)		2	5 (1)
柳 井 市		3	5 (1)	3 (1)	3	4 (1)	18 (3)
熊 毛 郡		3 (2)	2	1 (1)	3 (1)	2	11 (4)
下 松 市		17 (5)	21 (7)	34 (6)	22 (5)	16 (3)	110 (26)
光 市		9 (4)	12 (3)	14 (6)	11 (4)	14 (1)	60 (18)
周 南 市		46 (11)	46 (10)	35 (10)	52 (12)	44 (8)	223 (51)
山 口 市		7 (2)	8	4 (1)	6 (1)	4	29 (4)
防 府 市		17 (5)	14 (2)	17 (1)	8 (1)	11 (3)	67 (12)
宇 部 市				2		1	3 (0)
美 祢 市			1				1 (0)
下 関 市		1	2	2 (1)	2	1	8 (1)
萩 市				1	1	2	4 (0)
長 門 市		2 (1)		1			3 (1)
島 根 県		1	3	2			6 (0)
岡 山 県		1					1 (0)
広 島 県		1	1	1 (1)	2		5 (1)
マレーシア		1					1 (0)
外国人留学生				2 (1)	2	2 (1)	6 (2)
計		126 (34)	124 (25)	129 (33)	126 (31)	115 (21)	620 (144)

() は女子学生内数 Female Students

(6) 修学経費 (平成29年度) Educational Cost (2017)

学科入学生 For the Students of Regular Course

入 学 料	84,600円	実習服・製図用具等	約 35,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	学生傷害保険料等	約 11,500円
教 科 書	約 45,000円	そ の 他 諸 経 費	約 55,000円
体 育 服 等	約 19,000円	合 計	約 485,000円

Entrance Fee 84,600yen Tuition 234,600yen Textbooks 45,000yen Sports wear etc. 19,000yen

Trainee Uniform and Drawing gear 35,000yen Premium 11,500yen Other 55,000yen Total 485,000yen.

専攻科入学生 For the Students of Advanced Course

入 学 料	84,600円	教 科 書・実習服等	約 30,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	学生傷害保険料等	約 6,000円
		合 計	約 355,200円

Entrance Fee 84,600yen Tuition 234,600yen Textbooks etc. 30,000yen Premium 6,000yen Total 355,200yen.

(7) 高等学校等就学支援金制度 Subsidies for High School Attendance

国立高等専門学校（1～3年生）も本制度の対象となっており、授業料の支援として「市町村民税所得割額」が30万4,200円未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。また市町村民税所得割額に応じて就学支援金の加算があります。

First, second and third-year students at national colleges of technology are eligible for the government subsidies. Households paying less than 304,200yen in municipal income tax are eligible for curriculum fee assistance from the "Tuition Support Fund".

Additional amount can be added to Tuition Support Fund according to municipal income tax reduction.

(8) 奨学制度 Scholarships

経済的理由により修学が困難な学生に学資を貸与する各種の奨学制度があります。代表的なものは日本学生支援機構の奨学制度があります。人物・学業に優れた学生に貸与されます。

There are mainly two types of scholarships. One is JASSO scholarship and the other is Local scholarship.

本科奨学生 (平成28年度)

区 分	学 年	1年	2年	3年	4年	5年	計
日本学生支援機構		2	5	7	11	8	33
そ の 他 奨 学 制 度		0	0	4	4	4	12
計		2	5	11	15	12	45

専攻科奨学生 (平成28年度)

区 分	学 年	1年	2年	計
日本学生支援機構		2	3	5
そ の 他 奨 学 制 度		0	0	0
計		2	3	5

(9) 授業料減免制度 Reduction of the Tuition Fee System

経済的理由などにより、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合、授業料の全額あるいは半額を免除する制度があります。また、教育研究の活性化を図る観点から、学習成果や課外活動等において卓越していると認められる学生に対する授業料の免除も実施しています。

For students who are bright but are not well off, we have a system of reducing their tuition fee in half or completely.

Also, in order to activate education and research at this college, we offer tuition waivers to students who are outstanding in their learning outcomes and extracurricular activities.

外部からの学生の受け入れ

Acceptance of Foreign Students and Transferees

(1) 外国人留学生及び編入学生 Foreign Students and Transferees

学 年 Year		学 科 Department	国 籍 Nationality	編入生 Transferees
本 科 Course	3 年 3rd	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.	マレーシア 1 (1) Malaysia	
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	モンゴル 1 Mongolia	
	4 年 4th	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		1 (0)
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.		
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	インドネシア 1 Indonesia カンボジア 1 Cambodia	
	5 年 5th	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.		
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	モンゴル 1 (1) Mongolia カンボジア 1 Cambodia	
計 Total			6 (2)	1 (0)

() は女子学生内数 Female Students

(2) 編入学生 Transferees

区 分 Classification		学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
平成26 2014	志願者	Applicants	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)
	入学者	Students Admitted	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
平成27 2015	志願者	Applicants	2 (0)	1 (0)	2 (0)	5 (0)
	入学者	Students Admitted	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
平成28 2016	志願者	Applicants	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
	入学者	Students Admitted	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
平成29 2017	志願者	Applicants	3 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (2)
	入学者	Students Admitted	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)

() は女子学生内数 Female Students

(3) 研究生及び聴講生制度 Research Students and Auditors

特定の研究あるいは専門事項の研究を希望する場合は、研究生として、また、一般科目及び専門科目の授業を聴講したい場合は、聴講生として入学を許可する制度があります。

国際交流

International Exchange

本校は、高専における外国人留学生の受入制度が開始された初期段階よりその受入を積極的に行い、これまでに、15ヶ国76名の卒業生（修了生）を送り出しております。（現在6名在籍中）

また、これら留学生の受入を契機として、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成する様々な取り組みを展開しています。

その主なものとしては、海外留学をはじめとして、海外語学研修（オーストラリア）、海外インターンシップ、海外研修旅行への派遣のほか、英検、TOEIC・IPテストの受験等に対する奨励制度の開設、常勤外国人教員による英語による講義の実施、更には、日常的な語学力の向上を目指した「英語による会話・交流の場（いんぐりっしゅ☆る〜む）」や「English Zone」を開設するなど、国際感覚の醸成に全学的に取り組んでいます。

また、多くの海外教育機関と学術交流協定を締結しており、学生・教員交流の推進をめざしています。

We have been taking a positive attitude toward receiving students from abroad ever since the scheme for accepting overseas students to National Institute of Technology, Tokuyama College was inaugurated. Until now 76 students from fifteen countries have successfully completed the undergraduate or the advanced course. (At present 6 students are enrolled at our college.)

The acceptance of students from abroad has spurred us on to help our Japanese students improve their communicative competence in English. The whole college has been making various attempts to cultivate students' language skills and international outlooks, both of which are essential for everyone who lives in this internationalized world as a citizen of the world.

We have been encouraging students who are willing to study abroad by providing financial support for them. With part of the expenses paid, they go to such countries as Australia in order to improve their English in regular or intensive training courses, to serve their three-month internships, and to go on a study tour abroad.

In addition, we have established the subsidy system for encouraging students to obtain English qualifications such as STEP Pre-2nd Level or higher and Technical English Test 3rd Level or higher, and to get a score of 470 or over in the TOEIC IP or SP Test.

We expect students to get used to English in both academic and non-academic atmospheres. Some of the technical subjects are now taught in English by a German full-time faculty teacher. We have also set up English-only chat rooms called 'English Room' in the center of Shunan City and 'English Zone' on campus. In these chat rooms every participant is supposed to speak only English. It is now customary for some citizens as well as our students to get together and chat in English at 'English Room' and 'English Zone'.

Also, we have concluded agreements with several foreign institutes to develop exchange programs for students and faculty members.

Based on these agreement, we encourage all the students and faculty members to join these foreign exchange programs.

平成28年度海外派遣実績

派遣プログラム outbound program	人数	期間
香港IVE	13名	夏休み
シンガポール・ポリテクニク	8名	1月
正修科技大学（台湾）	5名	春休み
オーストラリア語学研修	12名	夏休み

受け入れプログラム inbound program	人数	期間
香港IVE	7名	3ヶ月間

海外留学 studying abroad	人数	期間
ドイツ	1名	1年間
アメリカ	1名	40日間

海外協定校 partner institute
大連東軟信息学院（中国）
正修科技大学（台湾）
キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ）
ウボン・ラーチャタニ・ラーチャパット大学（タイ）



語学研修 - オーストラリア



IVE研修生受け入れ

学 寮

Dormitory

学内に鉄筋4階建ての学寮「高城寮」(男子定員120名、女子定員24名(外国人留学生を含む))があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉強や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を楽しむことができます。

入寮は書類(場合によっては面接)選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。専攻科の学生も入寮を希望することができますが、入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって本科の寮生と同じ学寮日課、学寮諸規則を守らなければなりません。

We have a dormitory "Takajo-Ryo" on the campus. It can accommodate 120 male students and 24 female students. It accepts students who want to be independent. Foreign students can also live in the dormitory.

Dormitory students can lead an orderly, enjoyable and full life, surrounded with excellent facilities and equipment. Since they don't have to spend time traveling to school, they have enough time not only to devote themselves to extracurricular activities but also to concentrate on studying in a nice, quiet environment.

If you want to live in the dormitory, you need to submit an application form. Based on the application form or on an interview in some cases, whether you are suitable as a dormitory student or not is judged.

Advanced-course students can also apply to be admitted as a dormitory student. They are admitted as long as they observe all the rules in the dormitory that regular-course students have to obey.

(1) 学科寮生 Regular-course students.

平成29年4月1日現在
As of Apr. 1, 2017

区 分	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
在学者数 Number of Students	126 (34)	124 (25)	129 (33) < 2 (1) >	126 (31) < 2 (0) >	115 (21) < 2 (1) >	620 (144) < 6 (2) >
入寮者数 Number of Boarders	35 (5)	35 (3)	26 (8) < 2 (1) >	24 (2) < 2 (0) >	17 (3) < 2 (1) >	137 (21) < 6 (2) >

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科寮生 Two-year advanced-course students.

区 分	1年 1st	2年 2nd	計 Total
在学者数 Number of Students	18 (1)	20 (2)	38 (3)
入寮者数 Number of Boarders	0	0	0

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学寮経費 Expenses

種 別	金 額
寄 宿 料 (月額)	700円
寮 費 (月額)	6,500円
食費材料費(1日)	742円
食費諸経費(月額)	14,220円
学寮運営費(入寮時)	1,000円
寮 生 会 費(年額)	1,500円



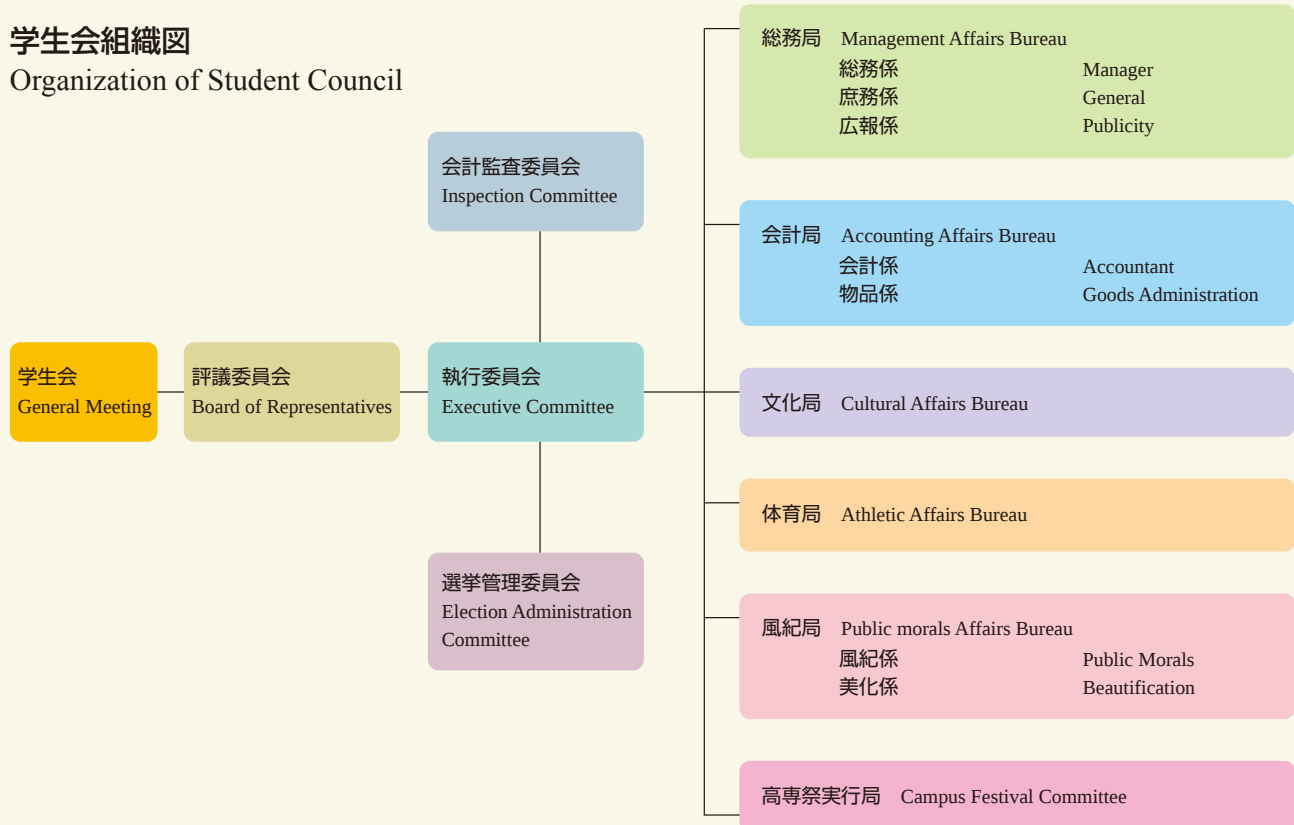
高城寮の前景 Front View of Takajo-Ryo

学生会

Student Council

学生会組織図

Organization of Student Council



全国高専体育大会
(写真は全国大会4連覇ハンドボール部)



高専ロボットコンテスト全国大会 (2013、全国大会優勝)



高専祭

就職・進学状況

Employment and Entering to Universities

(1) 求人及び進路状況（平成28年度） Job offers and Classification of Graduates (2016)

区 分 Classification			卒業生数 Graduates		就職者 Applicants for Employment		進学者 Admission into univ.		その他 Number of the Others		求人数 Number of Job Offered	求人倍率 Rate of Post Offered
学 科 Department												
本科	機械電気工学科	ME	32	(1)	22	(1)	10	(0)	0	(0)	588	26.7
	情報電子工学科	IE	39	(7)	28	(5)	10	(1)	1	(1)	528	18.9
	土木建築工学科	CA	44	(12)	24	(7)	19	(5)	1	(0)	328	13.7
専攻科	機械制御工学専攻	MC	4	(0)	1	(0)	3	(0)	0	(0)	533	533.0
	情報電子工学専攻	CE	7	(0)	2	(0)	5	(0)	0	(0)	498	249.0
	環境建設工学専攻	EC	6	(1)	5	(1)	1	(0)	0	(0)	302	60.4
計			132	(21)	82	(14)	48	(6)	2	(1)	2,777	33.9

() 内は女子学生内数 Female Students 外国人留学生を含む Including Foreign Students

(2) 就職先（平成28年度） Employment (2016)

機械電気工学科	NOK、大分キャノン、オムロン、ジーエス・ユアサ コーポレーション、シマノ、SUBARU、中国電力（2名）、DMG森精機（2名）、東ソー（3名）、東洋鋼鈑、TOTO、徳山積水工業、日揮、パナソニック、日立交通テクノロジー、日立ハイテクノロジーズ、三浦工業、矢崎総業
情報電子工学科	アイエムシンクタンク、NTTデータMSE、NTTデータ フロンティア、NTTコムソリューションズ、大阪ガス、オムロン、花王、関西電力、キャノン、サントリープロダクツ、JX エン지니어リング、SUBARU、創夢、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ、ダイキン工業、中国電力、ディスコ、デルタ工業、JR東海、東ソー情報システム、日本精蠟、パナソニックシステムネットワークス、日立プラントメカニクス、富士通（2名）、富士通アプリケーションズ（2名）、三菱電機
土木建築工学科	宇部建設コンサルタント、NTTインフラネット、鹿島クレス、勝井建設、五洋建設、三洋コンサルタント、三和建設、新技術工営、中国電力、東洋建設、トラバース、NIPPPO、ネストハウス、乃村工藝社、ピーエス三菱、安本建設、国土交通省（2名）、山口県、広島市（2名）、光市、周南市（2名）
機械制御工学専攻	NOK
情報電子工学専攻	日立ハイテクノロジーズ、MHI 情報システムズ
環境建設工学専攻	大成建設、NEXCO西日本、プランテック、広島市、防府市

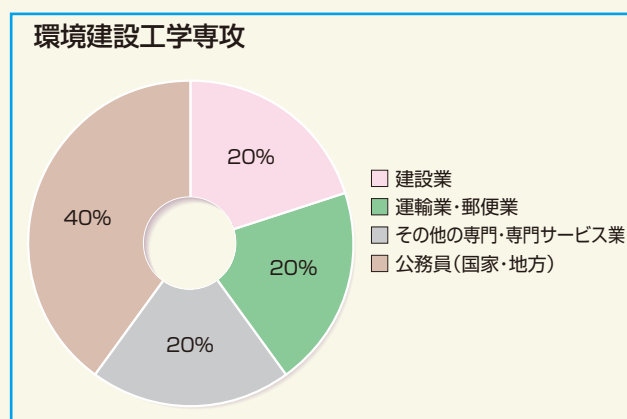
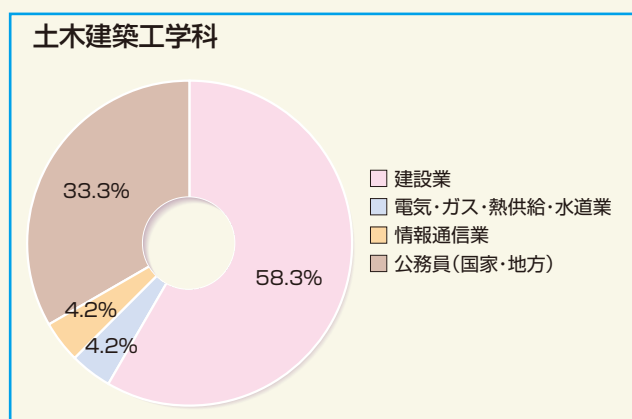
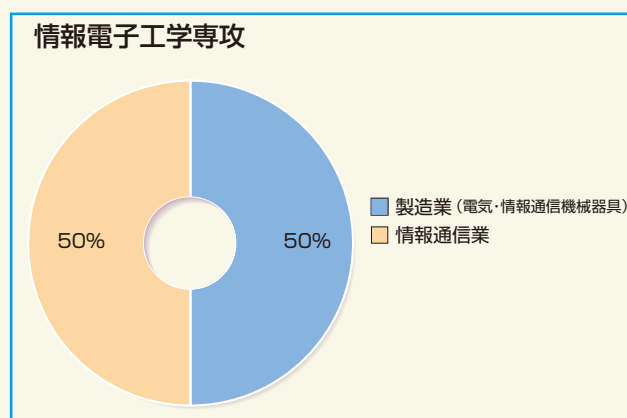
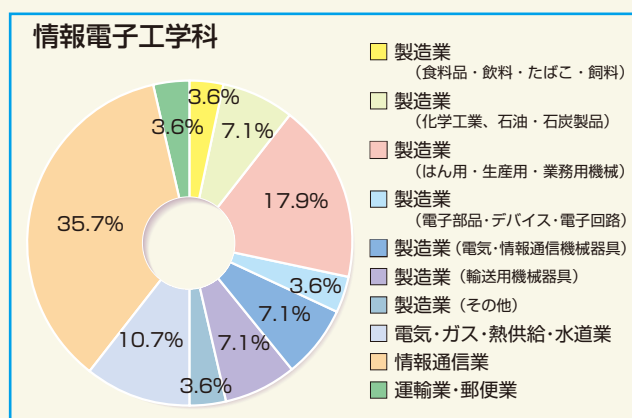
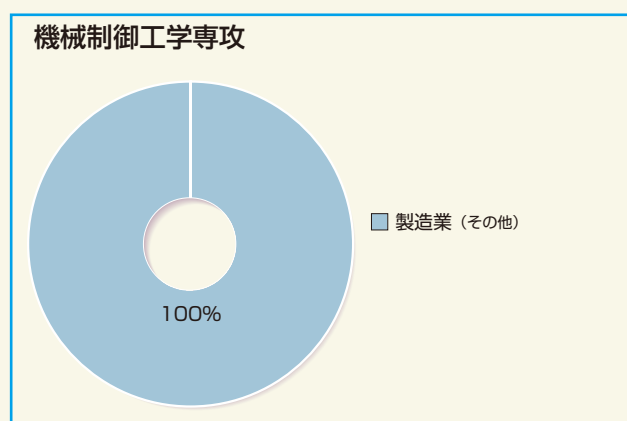
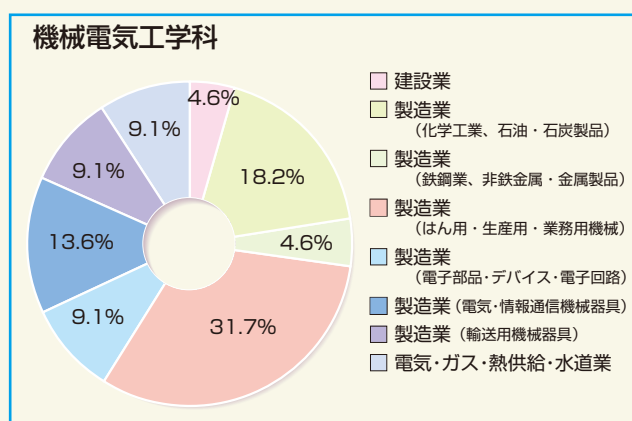
(3) 進学（編入学）状況（平成28年度） Entrance to Universities (2016)

学 科	本科						専攻科						計 Total
	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	機械制御	情報電子	環境建設	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	機械制御	情報電子	環境建設	
大学・専攻科	ME	IE	CA	MC	CE	EC	ME	IE	CA	MC	CE	EC	
徳山工業高等専門学校専攻科	3	4	11 (1)										18 (1) <0>
東京工業大学	1												1 (0) <0>
東京農工大学	1												1 (0) <0>
大阪大学	1												1 (0) <0>
山口大学	2	<1>	1 (1)										3 (1) <1>
北海道大学	1												1 (0) <0>
豊橋技術科学大学	1	<1>	1 (1) <1>										2 (1) <2>
岡山大学		1											1 (0) <0>
筑波大学		4											4 (0) <0>
和歌山大学		1 (1)											1 (1) <0>
熊本大学			1										1 (0) <0>
大分大学			2 (2)										2 (2) <0>
横浜国立大学			1										1 (0) <0>
長岡技術科学大学			1										1 (0) <0>
千葉大学			1 <1>										1 (0) <1>
東京工業大学情報理工学院					1								1 (0) <0>
東北大学大学院				2									2 (0) <0>
奈良先端科学技術大学院大学					2								2 (0) <0>
九州大学大学院					1								1 (0) <0>
筑波大学大学院					1								1 (0) <0>
東京工業大学物質理工学院				1									1 (0) <0>
熊本大学大学院						1							1 (0) <0>
計	10 (0) <2>	10 (1) <0>	19 (5) <2>	3 (0) <0>	5 (0) <0>	1 (0) <0>							48 (6) <4>

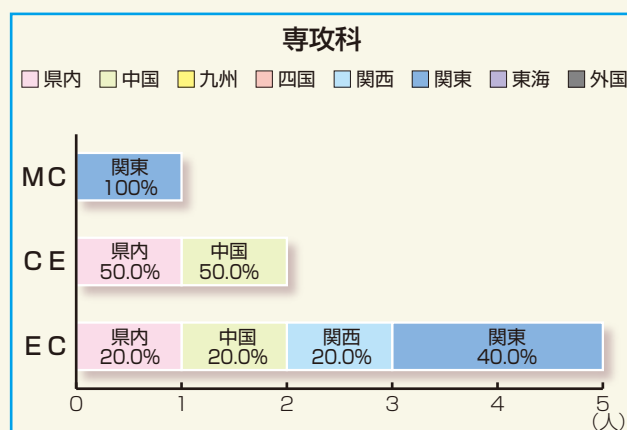
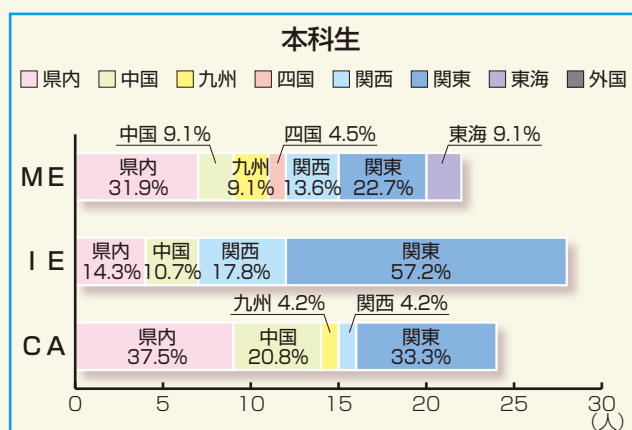
() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(4) 職種・就職先地域 Job Classification and The Area of the Employment

【職種】



【就職先地域】



ME : 機械電気工学科 I E : 情報電子工学科
CA : 土木建築工学科

MC : 機械制御工学専攻 CE : 情報電子工学専攻
EC : 環境建設工学専攻

配置図

Campus Map



- | | | | |
|----------------------|--|--------------|---|
| 1. 教室・管理棟 | General Education and Administration Office Building | 18. 専攻科棟 | Advanced Course Building |
| 2. 専門科目棟 | Engineering Department Building | 19. メディアホール | Audio-visual Building |
| 3. 図書館 | Library | 20. 渡り廊下 | Roofed passage |
| 4. 情報処理センター | Information Processing Center | 21. 体育館・武道場 | Gymnasium (1st) and Budo Hall |
| 5. エレベーターA棟 | Elevator A | 22. 第2体育館 | Gymnasium (2nd) |
| 6. 実験実習棟 | Building for Practice and Experiments | 23. 第2体育館器具庫 | Warehouse Attached to the 2nd Gymnasium |
| 7. 車庫守衛所 | Garage and Guard Room | 24. プール附属屋 | Facility Attached to the Swimming Pool |
| 8. 実習棟 | Building for Experiments and Laboratory | 25. 体育器具庫 | Warehouse for sports goods |
| 9. 薬品庫 | Warehouse for Chemicals | 26. 屋外便所A | Toilet A |
| 10. 福祉厚生センター | Welfare Facilities | 27. 屋外便所B | Toilet B |
| 11. 電子工作室 | Electrical Engineering Work Room | 28. 柔道場 | Judo Hall |
| 12. 物品庫 | Warehouse for goods | 29. 体育器具庫A | Warehouse for sports goods A |
| 13. 危険物貯蔵庫 | Storing Place for Dangerous Object | 30. 体育器具庫B | Warehouse for sports goods B |
| 14. 土石流実験室 | Laboratory for Avalanche of earth and rocks | 31. 洋弓の場 | Practice area for Archery |
| 15. 合宿研修施設 | Training Institute | 32. 野球器具庫 | Warehouse for Baseball Goods |
| 16. 機材倉庫 | Warehouse for Materials | 33. プール女子更衣室 | Locker room |
| 17. テクノ・リフレッシュ教育センター | Center for Collaborative Research and Education | 34. 寄宿舍 | Dormitory |
| | | 35. 高城職員宿舍 | Personal Housing |

施設の概況

Facility Information

(1) 建物 Building

区分	建物番号	名称	構造	建面積㎡	延面積㎡	備考
校舎等施設	1	教室・管理棟	R-4	1,194	3,871	S.50. 3.28
	2	専門科目棟		1,416	5,755	
		(専門科目棟)	R-4	(1,401)	(5,685)	S.51. 3.27
		(エレベーター-B棟)	S-5	(15)	(70)	H. 9. 3.28
	3	図書館	R-2	941	1,726	S.51. 3.27
	4	情報処理センター	R-1	305	305	S.51. 3.27
	5	エレベーター-A棟	S-5	14	82	H. 9. 3.28
	6	実験実習棟	R-1	193	193	S.50. 3.28
	7	車庫守衛所	R-1	131	131	S.51. 3.27
	8	実習棟	R-1	1,047	1,047	S.51. 3.27
	9	薬品庫	B-1	32	32	S.53. 2.10
	10	福利厚生センター		592	819	
		(学生食堂)	R-1	(204)	(204)	S.54. 3.26
		(学生食堂)	R-1	(4)	(4)	H.11. 3.30
		(福利施設)	R-2	(384)	(611)	S.57. 3.31
	11	電子工作室	S-1	44	44	S.55. 3.24
		課外活動工作室	S-1	32	32	H. 4. 4. 1
	12	物品庫	B-1	75	75	S.55. 1.30
	13	危険物貯蔵庫	B-1	15	15	S.56. 3.16
	14	土石流実験室	S-1	40	40	S.57. 3.31
	15	合宿研修施設	R-1	205	205	S.58. 3.30
	16	機材倉庫	S-1	95	95	S.61. 3.28
	17	テクノ・リフレッシュ教育センター	R-2	303	738	H. 6.11. 4
	18	専攻科棟	R-3	385	873	H. 9. 3.28
	19	メディアホール	R-2	275	275	H.11. 7.30
	20	渡り廊下	S-1	157	134	H.13. 3.15
		小 計		7,491	16,487	
	21	体育館・武道場	R-1	1,228	1,228	S.50. 3.28
	22	第2体育館	S-1	938	938	S.58. 3.29

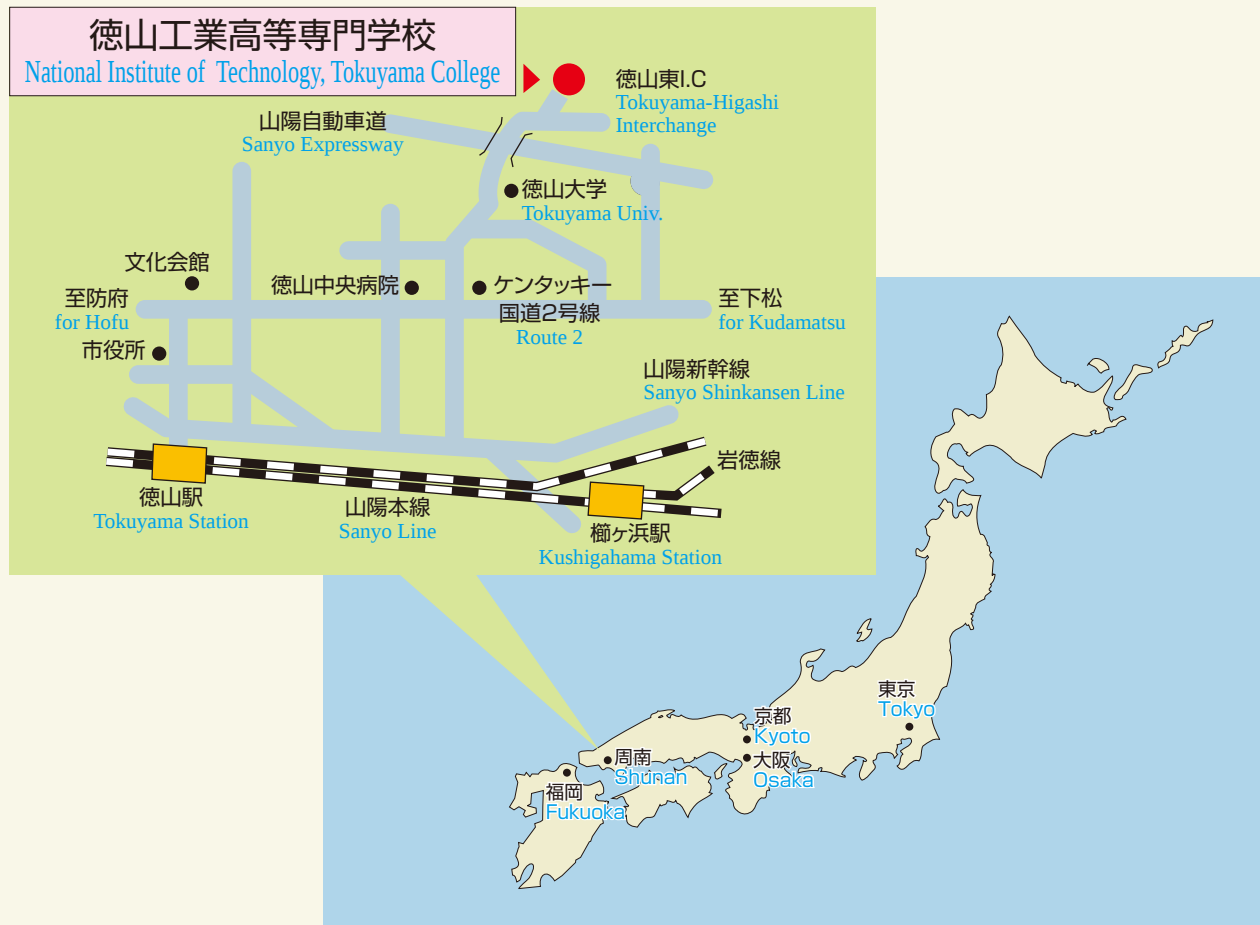
区分	建物番号	名称	構造	建面積㎡	延面積㎡	備考
体育施設	22	(更衣室)	S-1	(58)	(58)	H. 4. 2.27
		(体育館)	R-1	(880)	(880)	S.58. 3.29
	23	第2体育館器具庫	R-1	30	30	S.60. 3.22
	24	プール附属屋	B-1	99	99	S.51. 3.31
	25	体育器具庫	B-1	110	110	S.53. 2.10
	26	屋外便所A	B-1	10	10	S.54. 3.31
	27	屋外便所B	B-1	10	10	S.54. 3.31
	28	柔道場	S-1	213	213	S.57. 3.31
	29	体育器具庫A	B-1	60	60	S.59. 3.24
	30	体育器具庫B	B-1	24	24	S.59. 3.24
	31	洋弓的場	S-1	17	17	S.62. 3.27
	32	野球場器具庫	B-1	10	10	H. 7.11.30
	33	プール女子更衣室	S-1	30	30	H.13. 3.28
		小 計		2,779	2,779	
寄宿舎施設	34	寄宿舎		1,561	3,712	
		(共通スペース)	R-4	(0)	(589)	H.20. 3.31
		寄宿舎及び管理部	R-4	(1,202) (6)	(2,087) (6)	S.50. 3.28 H. 3. 3. 6
		(寄宿舎)	R-4	(284)	(852)	S.52. 3.20
		(物干場)	S-1	(0)	(92)	S.53. 1.31
		寄宿舎(浴室)	R-1	(52)	(52)	H. 1. 3. 9
		女子寮(階段室)	R-2	(17)	(34)	H. 6. 3.25
		小 計		1,561	3,712	
	35	高城職員宿舎	B-2	128	256	S.53. 3.28
	職員宿舎	御弓町宿舎	B-2	128	256	S.53. 9.30
		校長宿舎	W-1	87	87	S.53. 9.30
		事務部長宿舎	W-1	70	70	S.55. 3.15
		周南住宅5号棟	R-5	279	1,370	S.51. 3
		小 計		692	2,039	
		合 計		12,523	25,017	

(2) 土地 Land

区分	校舎体育施設敷地	屋外運動場敷地			寄宿舎敷地	職員宿舎敷地	その他	計
		陸上競技場	テニスコート	野球場				
面積	42,940㎡	23,639㎡	4,200㎡	15,802㎡	9,808㎡	3,911㎡	27,811㎡	128,111㎡

学校所在地

Location Map



学校への交通機関

バス JR徳山駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「高専正門」下車
「久米温泉口」行に乗車、「大学高専下」下車、徒歩10分

JR櫛ヶ浜駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「高専正門」下車

自動車 山陽自動車道徳山東インターから約5分

タクシー JR徳山駅から約15分
JR櫛ヶ浜駅から約10分

By Railroad

Take the Sanyo Line or Sanyo Sinkansen Line and get off at Tokuyama Station.

Take a Bocho Bus bound for Kosen, it will take you directly to the school.

If you take a bus bound for Kume Onsenguchi, get off at Daigaku-Kosenshita bus stop and walk up the slope for ten minutes.

By Car

Take the Sanyo Expressway to exit No.37, Tokuyama-Higashi. It takes only five minutes from the exit to the school.

周南市の紹介

Guide to Shunan City



平成の大合併の中、平成15年4月、徳山・新南陽・熊毛・鹿野の2市2町が山口県内先駆けとなる合併を実現し、「周南市」が誕生しました。

本市は、県東南部に位置する656.32km²のまちで、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を臨み、その海岸線に沿って、県経済を牽引する大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いています。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在しています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

また、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、周南市・徳山大学・徳山高専が連携協力に関する協定を平成18年度に締結し、「産業の振興」「教育・文化・スポーツの振興」「保健福祉の充実」「都市環境の向上」など、さまざまな協働事業を実施しています。

During the Great Heisei-Era Merger, in April 2003, Tokuyama City, Shinnanyo City, Kumage Town and Kano town merged to form Shunan City.

Our city is located in the southeast of Yamaguchi Pref., facing the Chugoku mountains to the north and Inland Sea to the south. Along the coast, there are a number of major industrial companies. Behind this industrial area the long narrow strip of the city center spreads from east to west. To the north of the city lie gentle hills and there are farming areas and mountain villages scattered behind vast ridges. In addition, the beautiful natural environment is surrounded by islands, which are designated as Setonaikai national park.

In 2007 Shunan city made an arrangement to collaborate with Tokuyama Kosen and Tokuyama University on making contributions to develop the community and nurture human resources. Together they have worked on a variety projects such as promotion of industry, promotion of education, culture, sports, health and improvement of city environment.



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）からの認定を受けています。



COLLEGE OF TECHNOLOGY
ACCREDITED
Mar. 2013

本校は、平成24年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。



大学教育再生加速プログラム

本学の申請が文部科学省の平成28年度大学教育再生加速プログラム（AP）「テーマV卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College

発行 徳山工業高等専門学校 総合企画室
印刷 大村印刷株式会社
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
URL <http://www.tokuyama.ac.jp/>

National Institute of Technology, Tokuyama College

Address Gakuendai, Shunan City,
Yamaguchi Prefecture, Japan 745-8585

Telephone (0834) 29-6200

Facsimile (0834) 28-7605

代表 TEL(0834) 29-6200 FAX(0834) 28-7605

総務課 TEL(0834) 29-6208 FAX(0834) 28-7605

学生課 TEL(0834) 29-6232 FAX(0834) 29-6161

高城寮 TEL(0834) 29-6236

平成 29年 5月